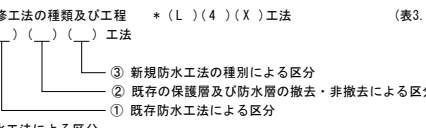
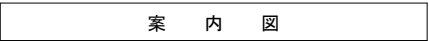


山田さくらが丘団地1600棟、1700棟屋上・外壁等改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	(共通) 特記仕様書1	A-14	(1700棟) 凡例・1階平面図
A-02	(共通) 特記仕様書2	A-15	(1700棟) 2階、3階平面図
A-03	(共通) 案内図・配置図・改修概要・仮設計画図	A-16	(1700棟) 屋上平面図
A-04	(1600棟) 凡例・1階平面図	A-17	(1700棟) 1階、2階天井伏図
A-05	(1600棟) 2階、3階平面図	A-18	(1700棟) 3階、屋上天井伏図
A-06	(1600棟) 屋上平面図	A-19	(1700棟) 北側立面図
A-07	(1600棟) 1階、2階天井伏図	A-20	(1700棟) 南側立面図
A-08	(1600棟) 3階、屋上天井伏図	A-21	(1700棟) 東側、西側立面図
A-09	(1600棟) 北側立面図	A-22	(1700棟) 階段(1)平面図、天井伏図、展開図
A-10	(1600棟) 南側立面図	A-23	(1700棟) 階段(2)平面図、天井伏図、展開図
A-11	(1600棟) 東側、西側立面図		
A-12	(1600棟) 階段(1)平面図、天井伏図、展開図		
A-13	(1600棟) 階段(2)平面図、天井伏図、展開図		

※特記事項		承 認	設 計	担 当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						-			A-00
						-	図面名	(共通) 表紙、図面一覧	-/-

改 修 工 事 仕 様 書		章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	
Ⅰ 工 事 概 要	1. 工 事 名 称	① 一 般 共 通 事 項	⑧	施工中の安全確保 及び環境保全	建築基準法、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、労働安全衛生法、環境基準法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、その他関係法令等によるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱」(平成5年1月12日建設省経建発第1号)及び「建設副産物適正処理推進要綱」(平成5年1月12日建設省経建発第3号)に従い、工事施工に伴う災害の防止及び環境の保全に努める。また、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努める。その他、(1.3.7)(b)～(g)による。	③ 防 水 改 修 工 事	① 一 般 事 項 適用範囲、基本要品質、施工一般については、(3.1.1)～(3.1.3)による。 ② 改修工法の種類及び工程 新規防水工法については、ポリマーセメント系無機質塗膜防水とし、エクセルテックス101工法同品質以上とする。これに伴い、当該特記仕様書、改修標準仕様書において、「ウレタンゴム系塗膜防水工法」を含むものについては、「ポリマーセメント系無機質塗膜防水工法(エクセルテックス101工法同品質以上)」に読み替えることとする。 防水改修工法の種類及び工程 凡例 () () () 工法 (表3.1.1)  ① 既存防水工法による区分 P：保護アスファルト防水工法 M：露出アスファルト防水工法 T：保護アスファルト断熱工法 ①：ウレタン系塗膜防水工法 S：合成高分子系ルーフィングシート防水工法 ② 既存の保護層及び防水層の撤去・非撤去による区分 1：保護層及び防水層撤去 3：露出防水層撤去 2：保護層撤去及び防水層非撤去(立上り部等は、撤去) ④：露出防水層非撤去(立上り部等は、表3.1.1による。) O：保護層及び防水層非撤去(立上り部等は、表3.1.1による。) ③ 新規防水工法の種別による区分 A：屋根保護防水密着工法 B：屋根保護防水絶縁工法 A1：屋根保護防水密着断熱工法 B1：屋根保護防水絶縁断熱工法 C：屋根露出防水密着工法 D：屋根露出絶縁工法 D1：屋根露出防水断熱工法 AS：改質アスファルトシート防水工法 AS1：改質アスファルトシート防水断熱工法 S：合成高分子系ルーフィングシート防水工法 S1：合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法 ⑤：ウレタンゴム系塗膜防水工法 E：屋内防水密着工法 シーリング改修工法の種類及び工程 (表3.1.2) ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・抵幅シーリング充填工法 ・ブリッジ工法	④ 外 壁 改 修 工 事	① 一 般 事 項 適用範囲、基本要品質、施工一般については、(4.1.1)～(4.1.3)による。 ② 補修部施工数量事前調査 施工に先立ち、施工数量調査を行う。 (1.5.2) ○事前調査調査範囲 ○外壁全面 ○調査時期 ○外壁仕上げ等除去前 ○調査方法 ○全面打診法 ○図示の範囲 ○外壁仕上げ等除去後 ○全面外縁装置法 ③ 外壁改修工法の種類 ○コンクリート打放し仕上外壁 (4.1.4)(a) ○ひび割れ部改修工法 ・樹脂注入工法 ○リカットシール材充填工法 ○シール工法 ○欠損部改修工法 ○充填工法 ・(鉄筋露出部補修) ○モルタル塗り仕上外壁 (4.1.4)(b) ○ひび割れ部改修工法 ・樹脂注入工法 ○リカットシール材充填工法 ・シール工法 ○欠損部改修工法 ○充填工法 ・モルタル塗り替え工法 ○浮き部改修工法 ○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ○アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法 ・外壁剥落防止工法(ネット工法) ・仕 様 ・全日本外壁ピンネット工事業共同組合 タケモルネット貼り工法 ・田川産業㈱ S D ネット工法 上記工法、同品質以上 ・保証 ※ 外壁剥落10年間保証書、提出のこと。 (4.1.4)(c) ・タイル張り仕上外壁 ・ひび割れ部改修工法 ・樹脂注入工法 ・リカットシール材充填工法 ・欠損部改修工法 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・タイル部分張り替え工法 ・タイル張り替え工法 ・目地改修工法 ・目地及びひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法 ○塗り仕上外壁 (4.1.5) 改修後の新規仕上の種類 ○薄付け仕上塗材塗り(外装薄塗材 E ゆず肌状ローラー仕上げ) ・厚付け仕上塗材塗り 板層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスチック塗材塗り		
	2. 工 事 場 所									福岡県嘉麻市上山田1065番地 7	
	3. 建 物 用 途									共同住宅	
	4. 建 物 概 要									敷地面積：－㎡ 建築面積：－㎡ 延床面積：－㎡ 構 造：鉄筋コンクリート(PC)造 規 模：地上 3 階 地下 一 階 都市計画○ 都市計画区域内(・市街化区域・市街化調整区域○区域区分非設定) ・準都市計画区域内・都市計画区域及び準都市計画区域外 用途地域：・第1種低層住居専用地域・第2種低層住居専用地域 ・第1種中高層住居専用地域・第2種中高層住居専用地域 ・第1種住居地域・第2種住居地域 ・準住居地域・近隣商業地域・商業地域 ・準工業地域・工業地域・工業専用地域 ○指定なし 防火地域：・防火地域・準防火地域 ○指定なし・法22条区域 その他の区域、地域、地区、街区	
	6. 工 事 範 囲									屋上防水改修工事・外壁改修工事	
	7. 別 途 工 事										
	8. 適 応 範 囲									本特記仕様書は各標準仕様書及び補足事項に記載なき仕様を特記するものであり、各工事に於いての他の工事との関連ある事項は各々該当の記載事項を参照すること。	
	9. 疑 義									本工事の設計図書に関する疑義は工事契約前に質疑応答をもって確かめておくものとする。設計図書に記載無くとも外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、監督職員の指示に従い請け負い金額の範囲内において施工するものとする。	
	10. 材 料 試 験									本工事に使用する材料のうち監督職員により指示あるものに関してはその成績表を提出し、又は、監督職員の認める試験所で試験を行い確認を受けなければならない。尚、試験に要する費用はすべて請け負い業者の負担とする。	
	11. 提 出 書 類									本工事の施工に伴う提出書類は別紙に定める他必要に応じて監督職員と協議の上、作成するものとする。及びこれに準ずる規格。	
	12. 保 護 設 備									本工事の施工に当り付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して損害を与えない様に必要な保護設備を計画し、監督職員及び各関係の承認を得て実施する。万一損害を与えた時は速やかに応急手当、復旧工事をして、これに要した費用は、請負者の負担とする。工事完了後、建物引き渡し前に全体の清掃を行い工事による公道の損傷部分は完全に復旧すること。	
	13. 会 議									工事の円滑化を計る為、監督職員の指示により工事期間中定期的に各工事責任者を収集し、打合せを行うものとする。請負者は定例会議議事録をとり、その都度監督職員の承認を得るものとする。尚、工事責任者間の打合せを密に行い、協力して工事の完了を計ること。又、業者間で発生した問題等についても当事者間で処理のこと。	
	14. 仮 設 道 路									敷地内の工事に使用する道路は、施工者に適宜整理すること。	
	15. そ の 他										
	Ⅱ 建 築 工 事 仕 様 書									1. 適 用 基 準 等	② 仮 設 工 事
2. 特 記 仕 様		1) 章は番号に○印のついたものを適用する。 2) 項目は番号に○印のついたものを適用する。 3) 特記事項は●及び○印のついたものを適用する。 ○印のない場合は、＊印のついたものを適用する。 ○印と③印のある場合は、○印のついたものを適用する。 ○印と③印のある場合は、共に適用する。 4) 特記事項に記載の()内の表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図、当該表を示す。 5) 形状、寸法の単位は、特記なき限りmm(ミリメートル)とする。 6) 特記事項に「標準仕様書」とあるのは「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」を示す。									
3. 疑 義		本工事の設計図書に関する疑義は工事契約前に質疑応答をもって確かめておくものとする。設計図書に記載無くとも外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、監督職員の指示に従い請け負い金額の範囲内において施工するものとする。									
4. 提 出 書 類		本工事の施工に伴う提出書類は別紙に定める他必要に応じて監督職員と協議の上、作成するものとする。及びこれに準ずる規格。									
5. 保 護 設 備		本工事の施工に当り付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して損害を与えない様に必要な保護設備を計画し、監督職員及び各関係の承認を得て実施する。万一損害を与えた時は速やかに応急手当、復旧工事をして、これに要した費用は、請負者の負担とする。工事完了後、建物引き渡し前に全体の清掃を行い工事による公道の損傷部分は完全に復旧すること。									
6. 会 議		工事の円滑化を計る為、監督職員の指示により工事期間中定期的に各工事責任者を収集し、打合せを行うものとする。請負者は定例会議議事録をとり、その都度監督職員の承認を得るものとする。尚、工事責任者間の打合せを密に行い、協力して工事の完了を計ること。又、業者間で発生した問題等についても当事者間で処理のこと。									
7. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
8. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
9. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
10. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
11. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
12. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
13. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
14. 工 事 現 場 管 理		施工管理、施工管理技術者、電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者、施工条件、品質管理、交通安全管理、災害時の安全確保、養生、後片付けは、(1.3.1)～(1.3.13)による。									
※特記事項					承認	設計	担当	図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	
								-			A-01
								-	図面名	(共通) 特記仕様書1	1/全23



※ 仮設物設置

- ・ 現場事務所
- ・ 仮設トイレ
- ・ 廃材コンテナ置き場

A detailed cross-sectional diagram of a building's roof structure. The diagram shows multiple levels connected by stairs labeled "昇降階段". Key structural elements include "鋼製朝顔" (steel gable) at the base, "梁渡し(銅製)" (beam transfer/copper plate), and "落下防止ネット" (fall prevention net). Other labels include "臭突管架台取替え用昇降階段" (stairs for odor vent pipe bracket replacement), "バルコニー渡り" (balcony crossing), and "屋上渡り" (roof crossing). A note on the left mentions "ブラケット足損手すり、中さん" (bracket leg damage handrail, middle person). At the bottom right, it specifies "仮囲い(養生用金網柵 H=1800)" (temporary enclosure (protective mesh fence H=1800)).

仮設計画参考図	S=1/200
---------	---------

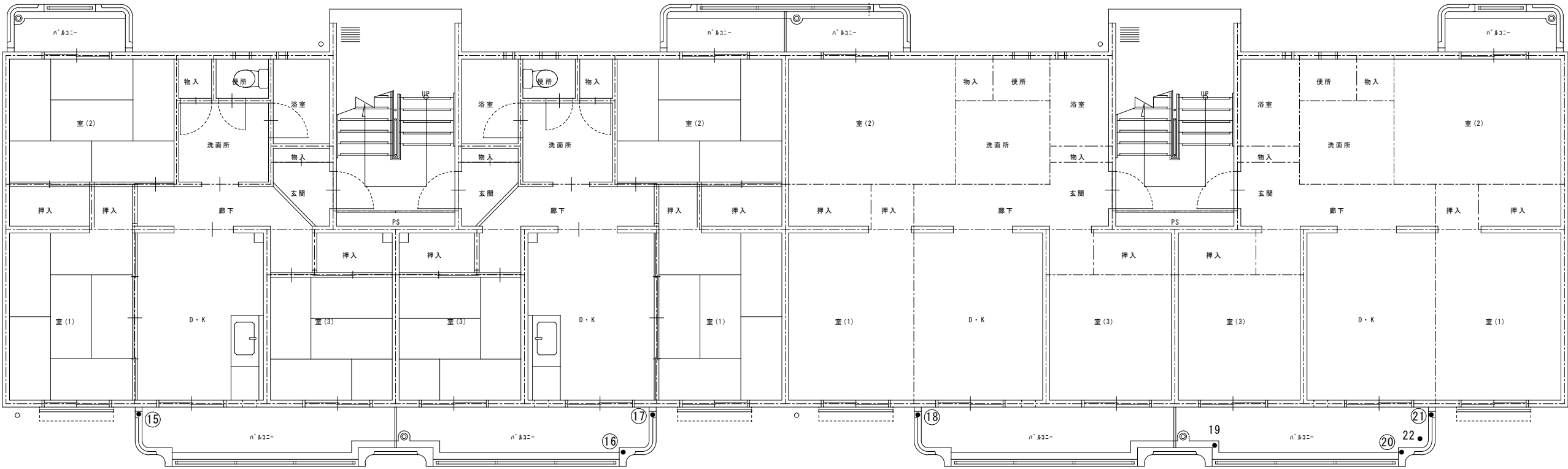
※特記事項		承 認	設 計	担 当		図面縮尺	工 事 名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/200			図面名
						A3:1/400			

外壁改修 凡例表						
符号	改修内容			改修工法		
●	爆裂部 補修			防錆処理の上、ポリマーセメントモルタル充填工法		
■	欠損部 補修			ポリマーセメントモルタル充填工法		
—	ひび割れ部 補修	0.2mm未満		シーリング工法		
		0.2mm以上		Uカット工法（ポリウレタン系シーリング材）の上 ポリマーセメントモルタル充填工法		
▲	モルタル浮き部 補修	0.25㎡未満	一般部	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	アンカーピン 16本/㎡	
			指定部	同上	アンカーピン 25本/㎡	
			狭幅部	同上	アンカーピン 200@	
		0.25㎡以上 1.00㎡未満	一般部	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	アンカーピン 13本/㎡	注入口 12本/㎡
			指定部	同上	アンカーピン 20本/㎡	注入口 20本/㎡
			狭幅部	同上	アンカーピン 200@	注入口 200@
		1.00㎡以上	一般部	同上	アンカーピン 13本/㎡	注入口 12本/㎡
			指定部	同上	アンカーピン 20本/㎡	注入口 20本/㎡
△	シーリング材劣化					
1	数字のみ : 個別の塗装なし		・全体で塗装（屋上の軒天、パラペット、階段室天井、 階段室踊り場手摺外部側、バルコニー腰壁外部側） →下地調整（C-1）の上、外装薄塗材E（ローラー塗）仕上			
			・既存仕上がモルタル塗りで塗装の必要なし			
①	丸囲み数字 : 個別の塗装あり		・補修部のみ塗装（外壁等） →下地調整（C-1）の上、外装薄塗材E（ローラー塗）仕上			

※爆裂部、欠損部、ひび割れ部等の各改修部分の寸法、数量は別紙集計表に記載

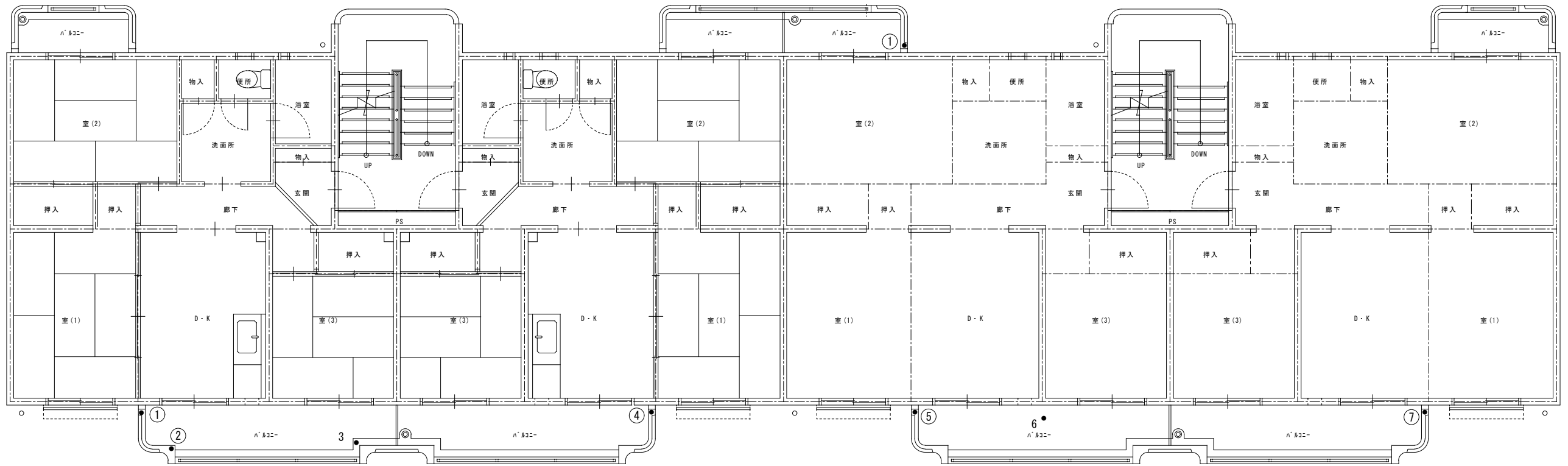
■ 全面塗装箇所を示す

追加補修箇所は朱書き、ダッシュ（' ）付き数字で記載

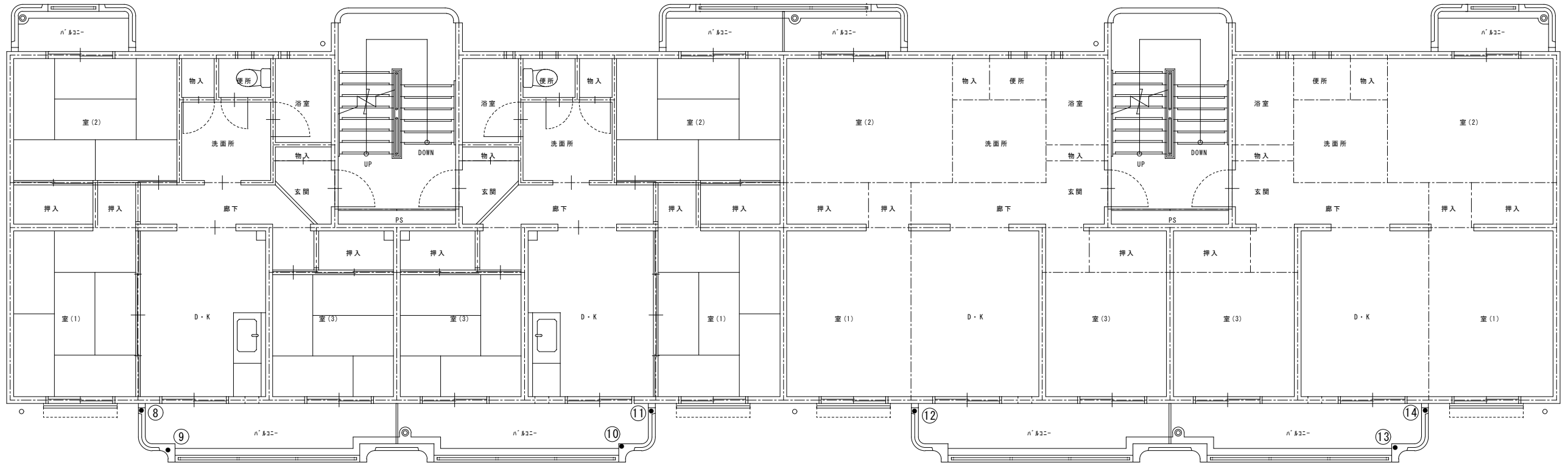


1600棟 1階平面図

※特記事項		承認	設計	担当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/50			A-04
						A3:1/100	図面名	(1600棟) 凡例・1階平面図	4/全23



1600棟 3階平面図



1600棟 2階平面図

※特記事項

承認 設計 担当

図面縮尺

A1:1/50

A3:1/100

工事名

図面名

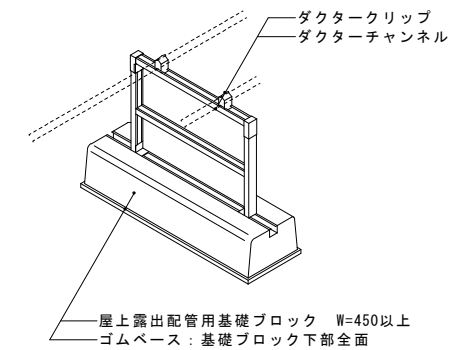
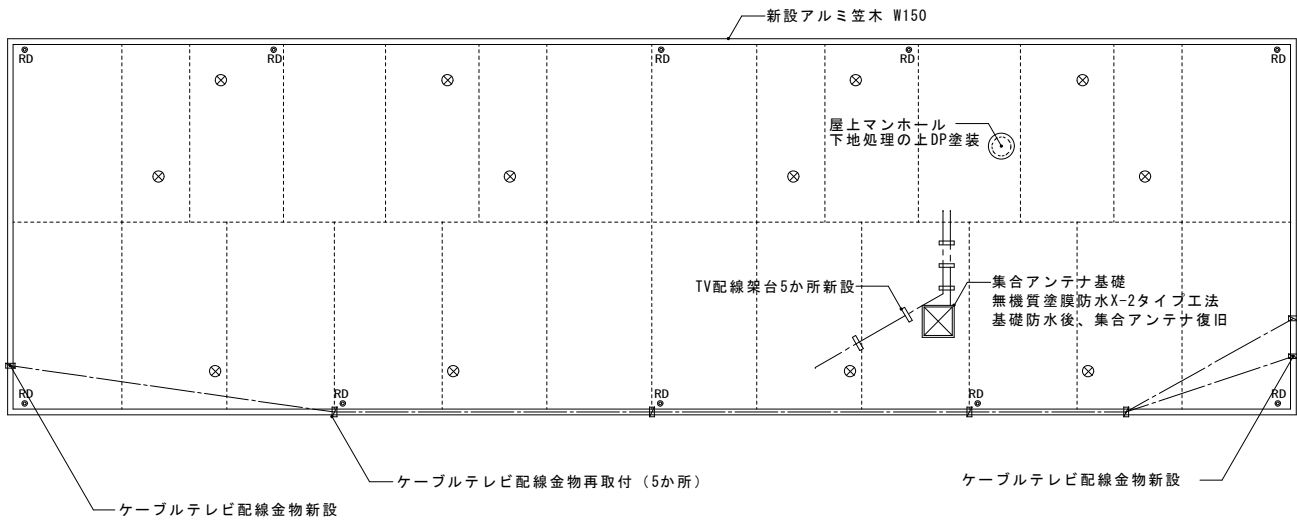
山田さくらが丘団地1600棟、1700棟
屋上・外壁等改修工事

(1600棟) 2階、3階平面図

図面番号

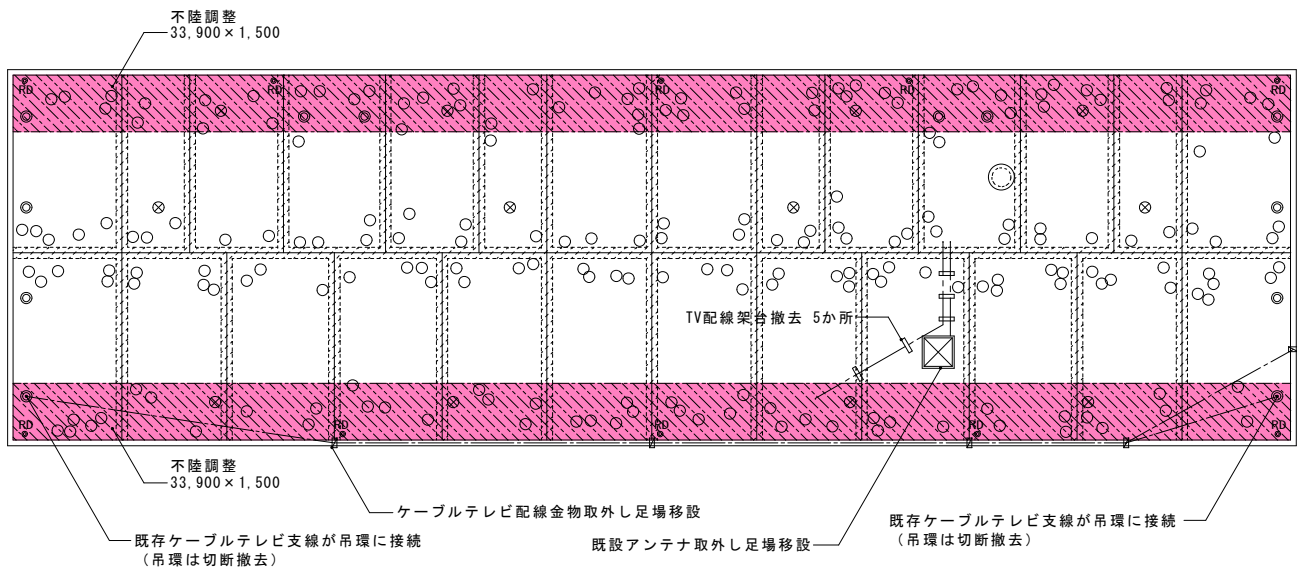
A-05

5/全23



TV配線架台新設アイソメ図

改修屋上凡例	
記号	内 容
	縦型フードレイン廻りの補修 (10ヶ所)
	排水通気管 (12ヶ所既存のまま)
	ケーブルテレビ配線金物取付 復旧: 5ヵ所 新設: 2ヵ所
	TVアンテナ架台新設5ヵ所 (左図参照)
	アルミ笠木W=150新設
改修屋上仕上・工法	
1. 既存防水層	: アスファルト防水ジョイント部 (L4X工法) (既存ウレタン塗膜防水補修部、モルタル浮き部は患所のみ撤去)
2. 洗浄	: 高圧洗浄 (7~15MPa) 及びケレン・清掃
3. 笠木天端下地	: 樹脂モルタル補修
4. ドレイン廻り	: 樹脂モルタル補修
5. アスファルト防水部 (スラブ目地、吊環部)	: カチオン系下地調整材
6. 屋上水下部	: 不陸調整 (図示による)
7. 屋上全面	: カチオン系下地調整剤塗布
8. アスファルト防水部 (スラブ目地、吊環部)	: キンセイシートS-15 (同等) 貼り
	: キンセイプライマー塗布
	: キンセイボンド塗布
	: キンセイシート貼り (圧着)
	: シート端部: キンセイボンド塗布
9. 屋上防水	: ポリマーセメント系塗膜防水 密着工法 (平場、立上り部共) (エクセルテックス101工法同等)
10. 笠木	: アルミ笠木取付



既存屋上凡例	
記号	内 容
	アスファルト防水 t=10 W=300 (既存のまま)
	不陸調整
	モルタル浮き部分撤去の上樹脂モルタル充填
	既存縦型ルーフトレイン (10ヵ所)
	排水通気管 12ヵ所 (既存のまま)
	アスファルト防水 既存のまま t=10 φ=300 (210ヵ所)
	吊環撤去の上樹脂モルタル充填 (12ヵ所)
	ケーブルテレビ配線金物取外し、足場移設 (5ヵ所)
	集合テレビアンテナ取外し、足場移設 (1ヵ所)
	: マンホール蓋 DP塗装
	既設ウレタン塗膜防水を示す

※特記事項

屋上ケーブルテレビ配線、及び金物取外し、足場移設、復旧はケーブルステーション福岡の指定業者が行うこと。

屋上防水施工後に、笠木取付、TVアンテナ復旧、ケーブルテレビ配線及び金物の復旧を行うが、防水層を損傷しないように養生、管理を行うこと。

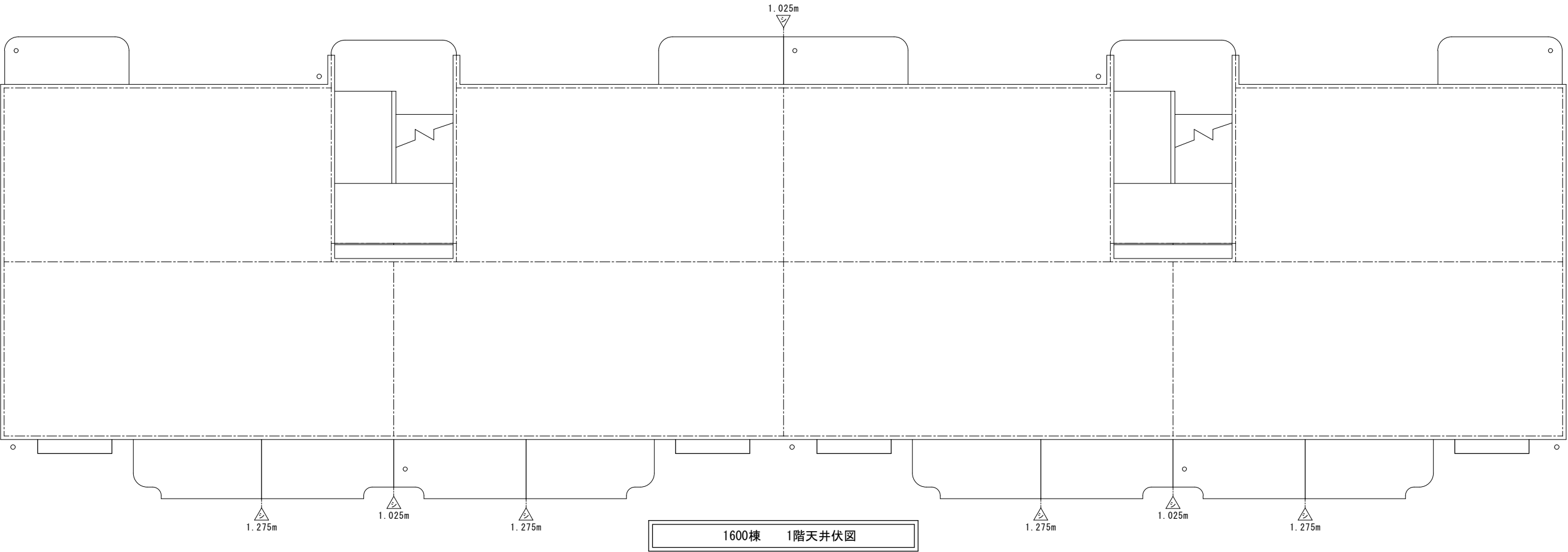
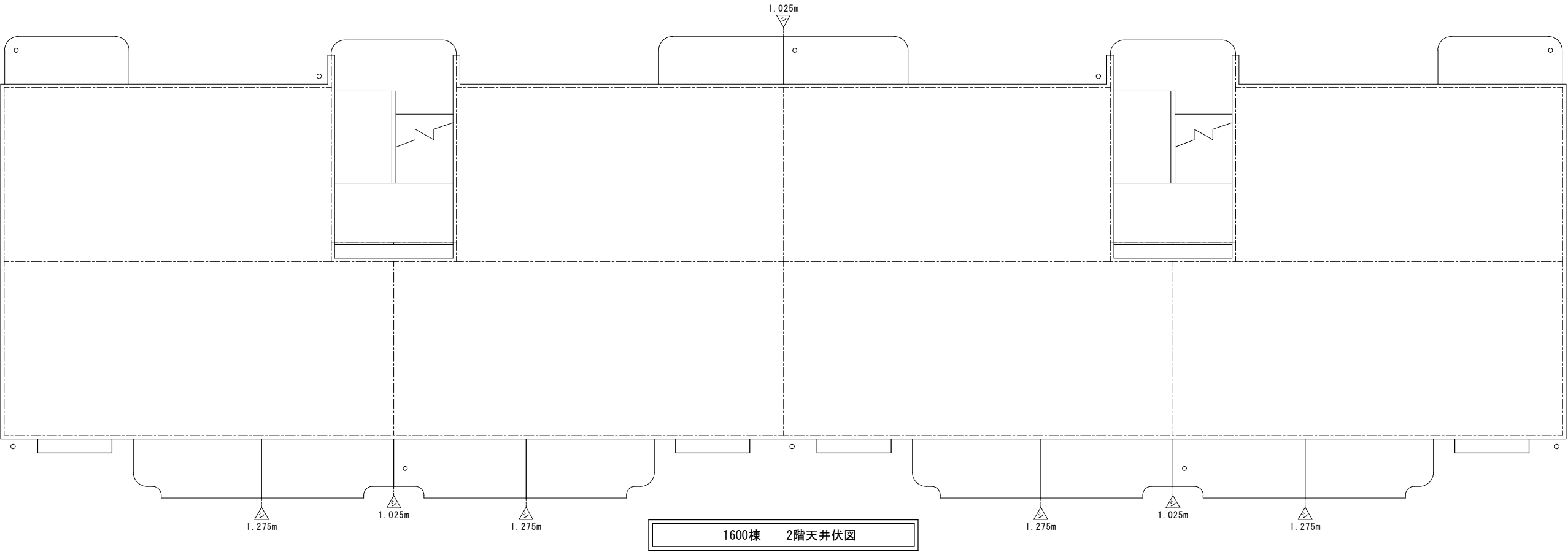
承認 設計 担当

図面縮尺

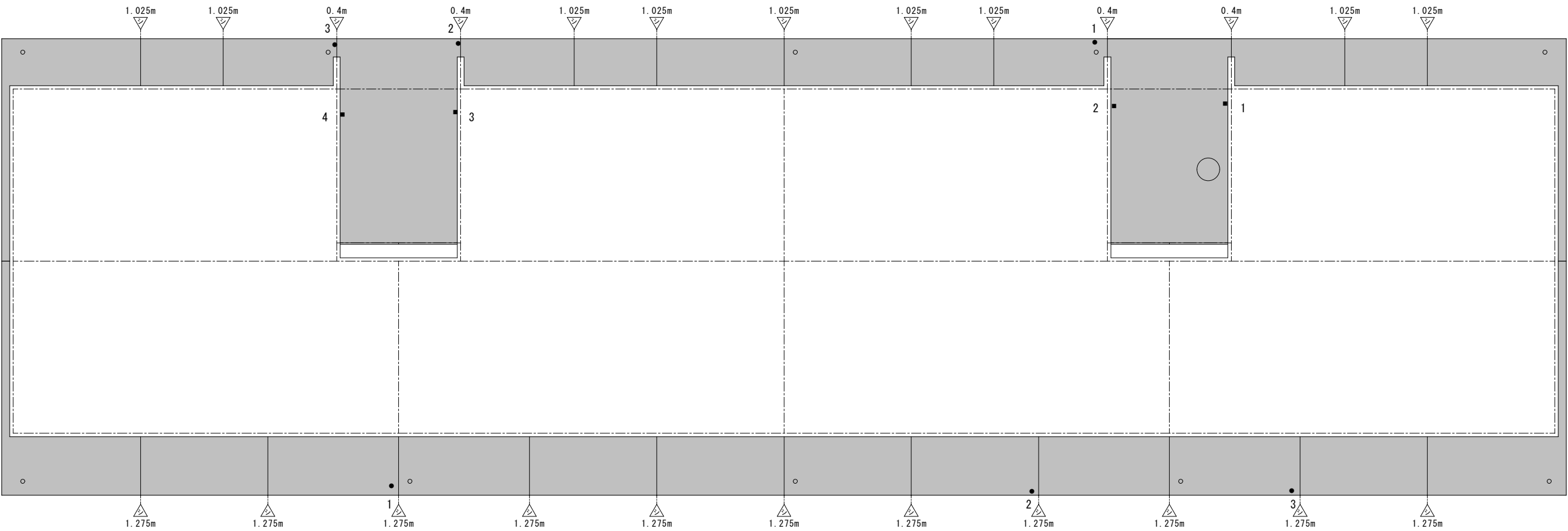
A1:1/100

A3:1/200

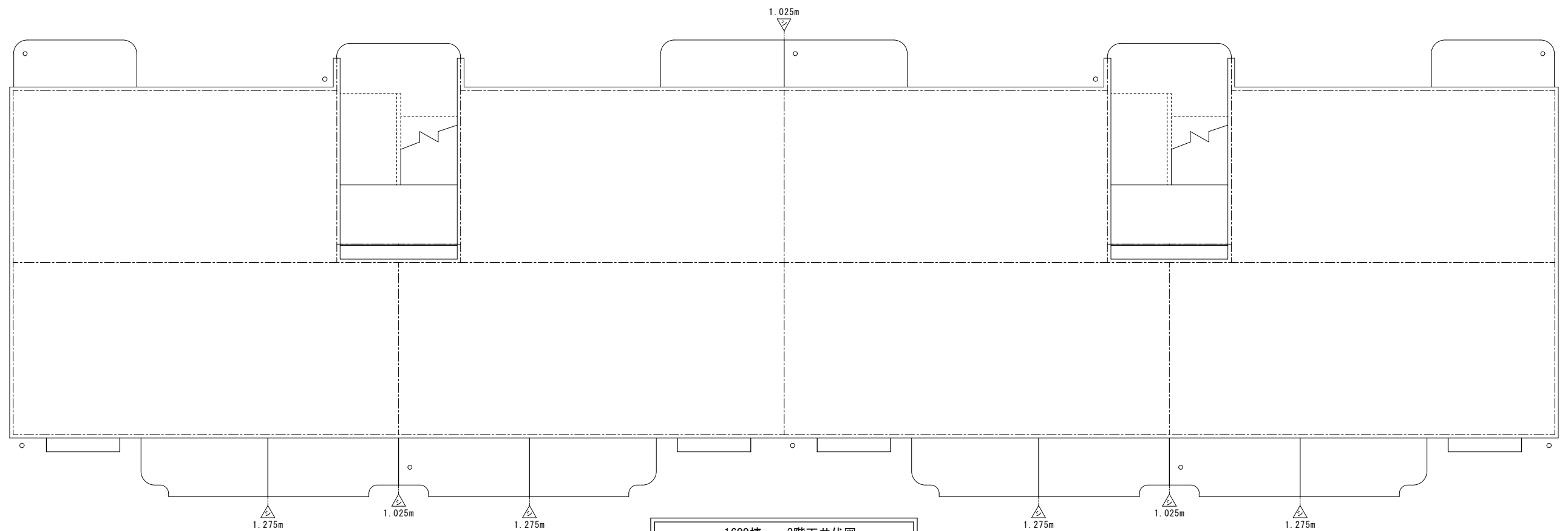
工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
		A-06
図面名	(1600棟) 屋上平面図	6/全23



※特記事項		承認	設計	担当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/50			A-07
						A3:1/100	図面名	(1600棟) 1階、2階天井伏図	7/全23



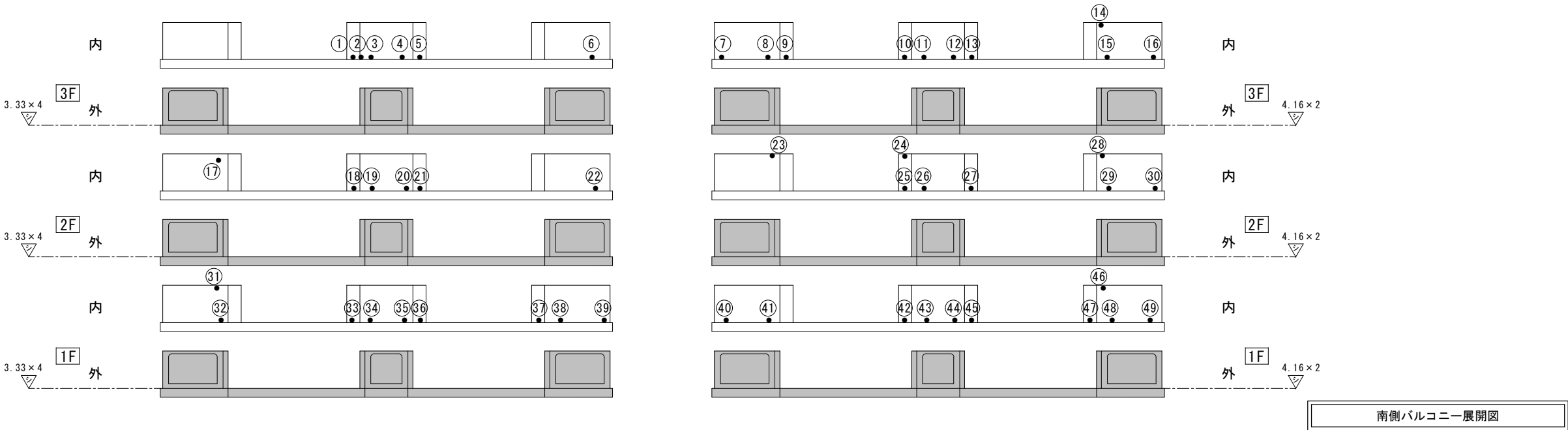
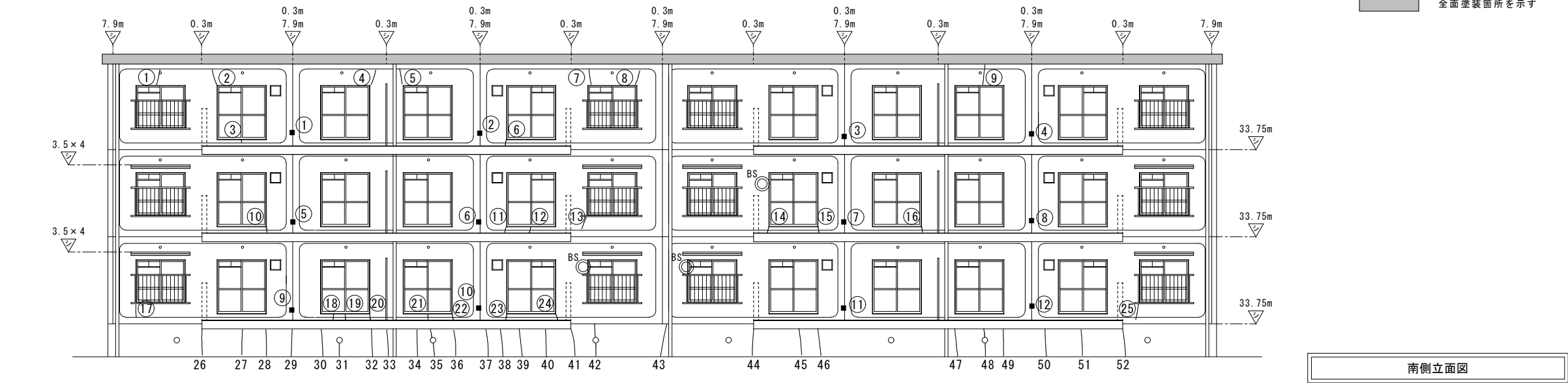
1600棟 屋上天井伏図



1600棟 3階天井伏図

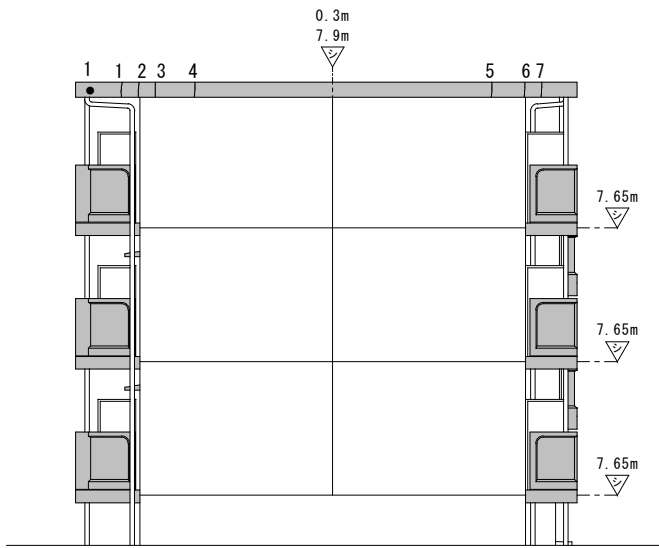
※特記事項		承認	設計	担当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/50			A-08
						A3:1/100	図面名	(1600棟) 3階、屋上天井伏図	8/全23

立面凡例	
記号	内 容
	鳩避けネット撤去復旧箇所
	BSアンテナ：足場移設、復旧箇所
	UHFアンテナ：足場移設、復旧箇所
	全面塗装箇所を示す

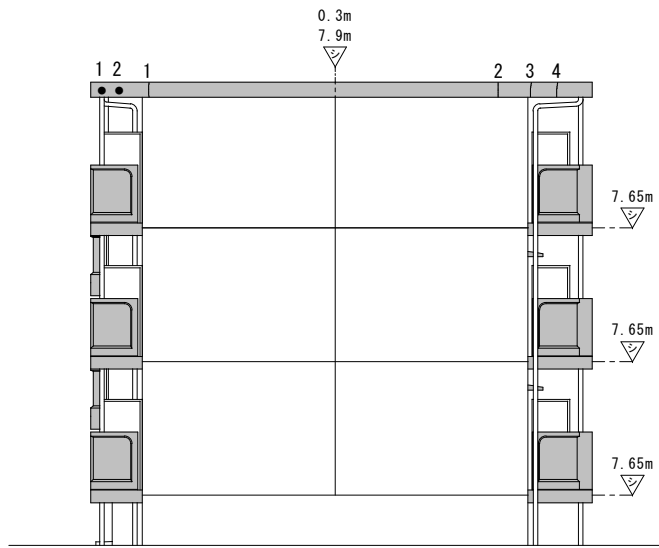


※仕上塗材アスベスト含有分析調査済み（アスベスト含有建材なし）

※特記事項		承認	設計	担当		図面縮尺	工事名 山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/75		A-10
						A3:1/150	図面名 (1600棟) 南側立面図	10/全23



東側立面図



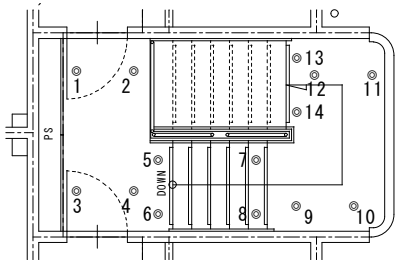
西側立面図

全面塗装箇所を示す

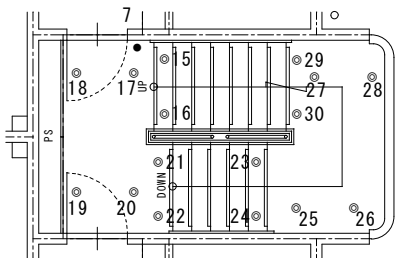
※仕上塗材アスベスト含有分析調査済み（アスベスト含有建材なし）

※特記事項		承 認	設 計	担 当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/75			A-11
						A3:1/150	図面名	(1600棟) 東側立面図、西側立面図	11/全23

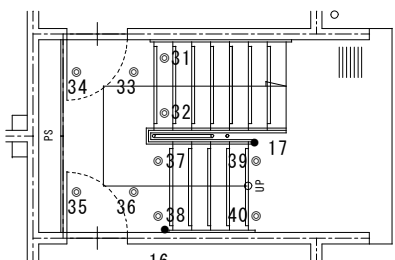
3F



2F

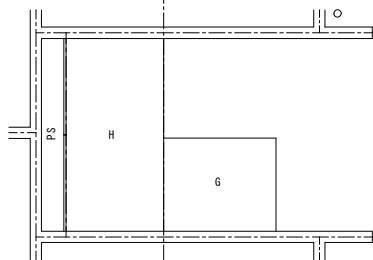


1F

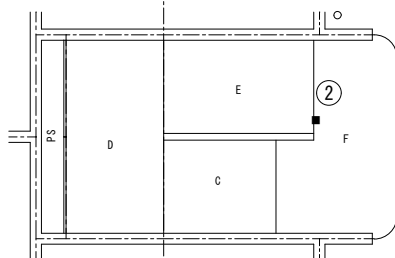


階段室(1) 平面図

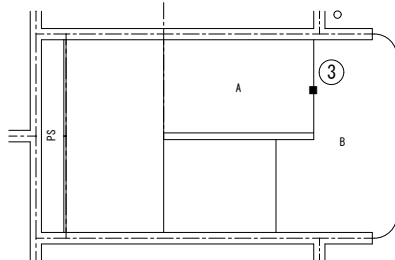
2.56 × 2



3F

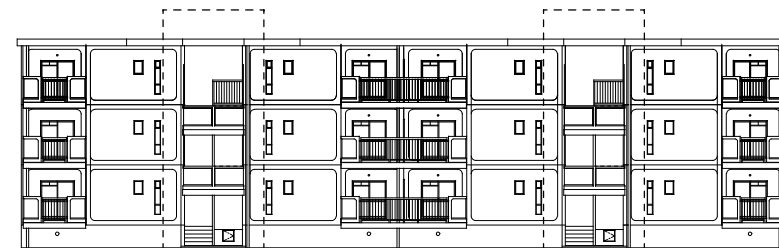


2F



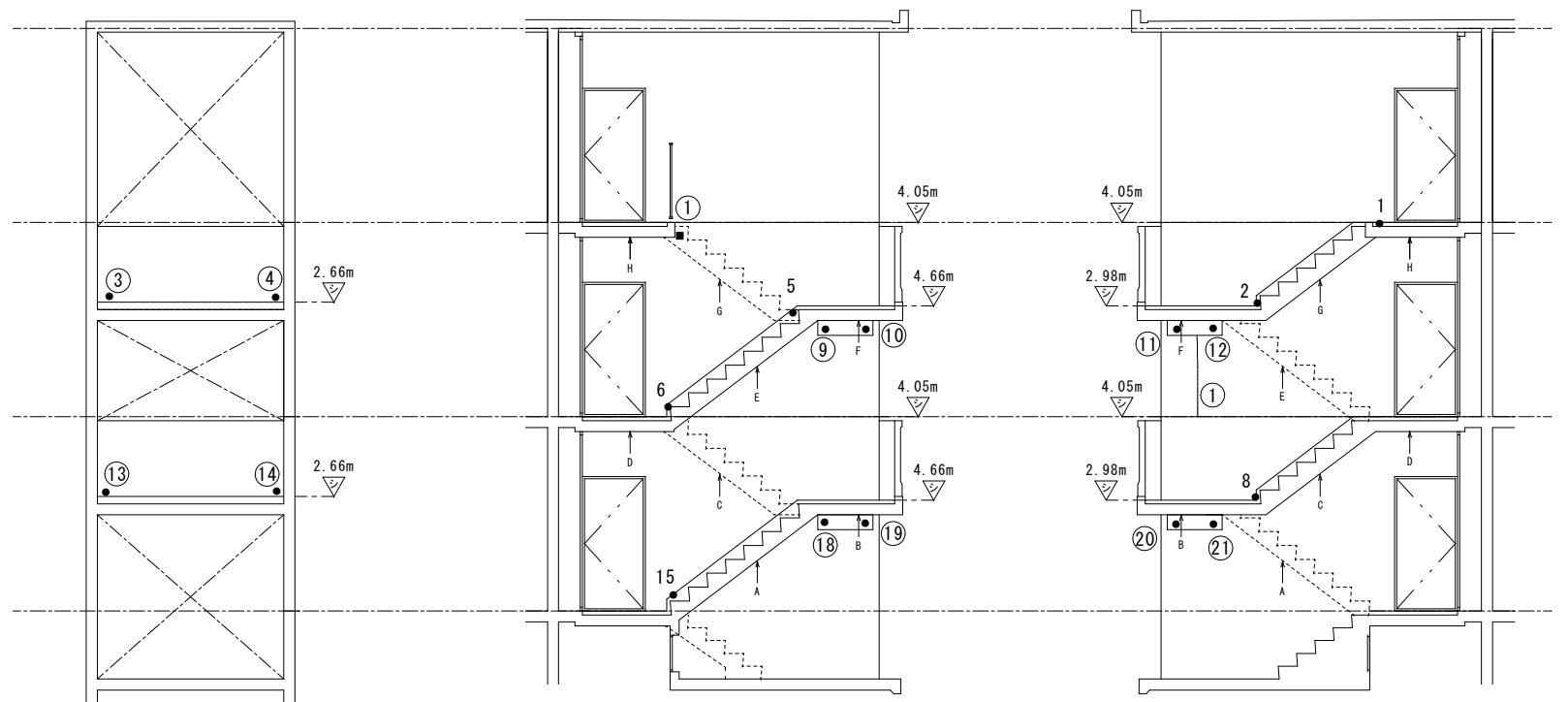
1F

階段室(1) 天井伏図



階段室(1)

階段室(2)



階段室(1) 展開図

※特記事項

承認 設計 担当

図面縮尺

A1:1/50

A3:1/100

工事名

図面名

山田さくらが丘団地1600棟、1700棟
屋上・外壁等改修工事

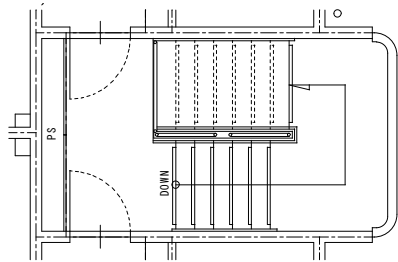
(1600棟) 階段室(1)平面図、天井伏図、展開図

図面番号

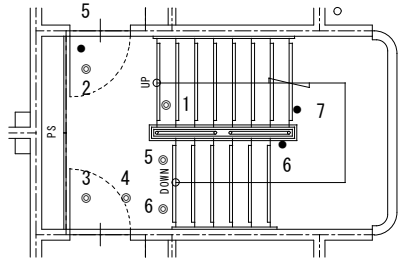
A-12

12/全23

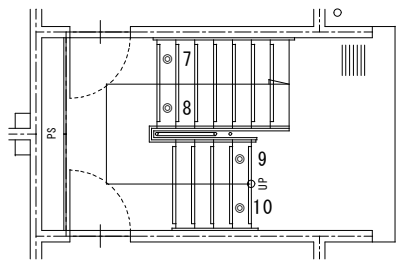
3F



2F

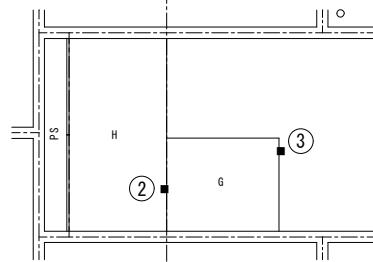


1F

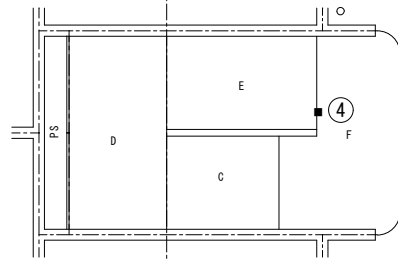


階段室(2) 平面図

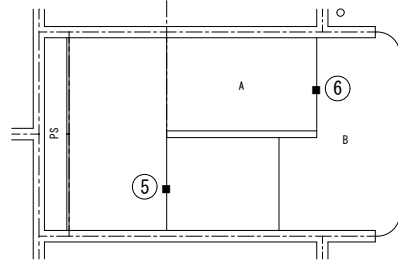
2.56 × 2



3F

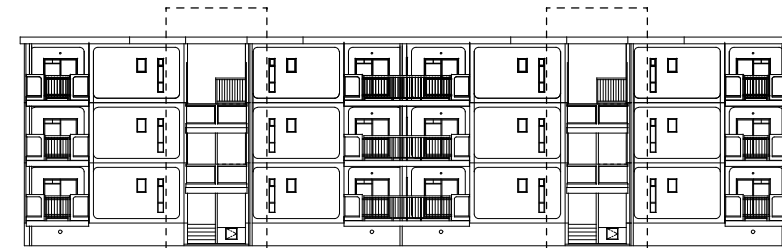


2F



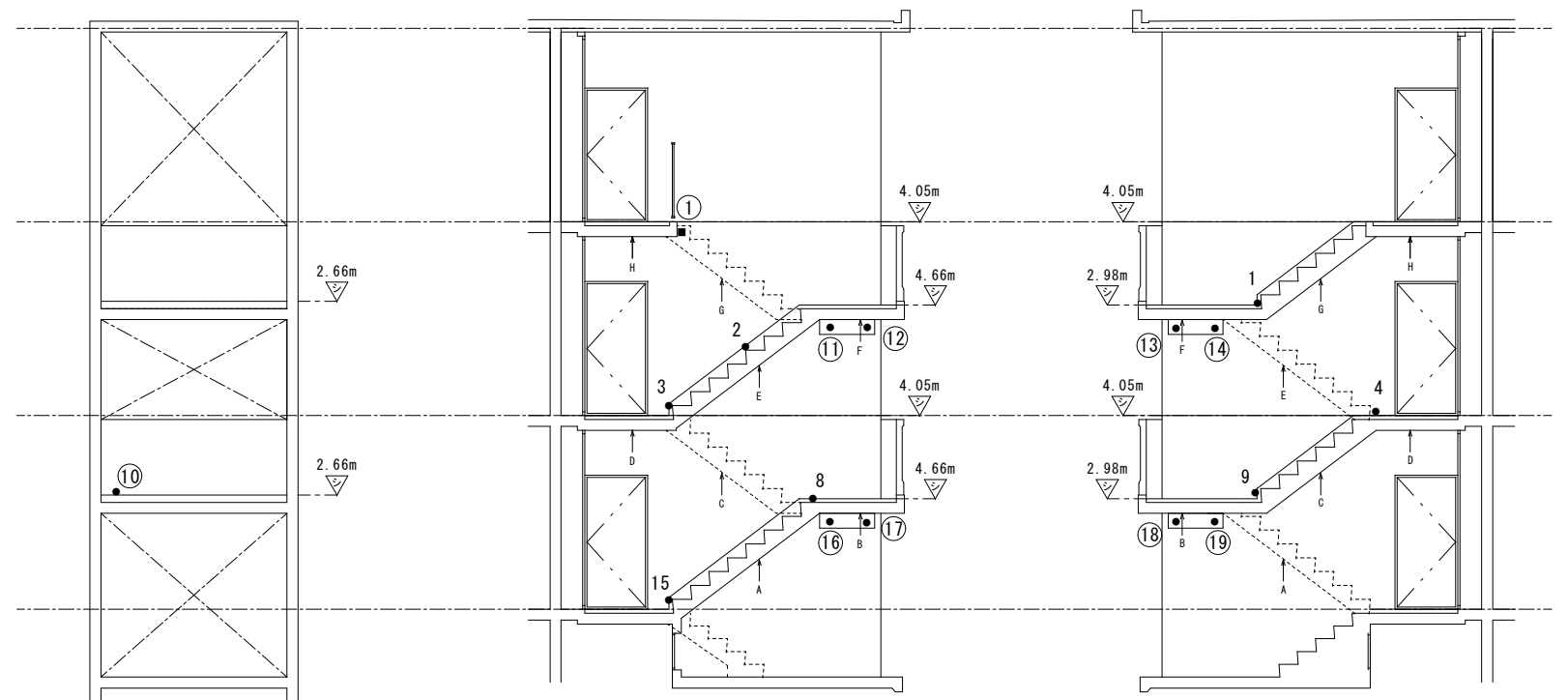
1F

階段室(2) 天井伏図



階段室(1)

階段室(2)



階段室(2) 展開図

※特記事項

承認 設計 担当

図面縮尺

A1:1/50

A3:1/100

工事名

図面名

山田さくらが丘団地1600棟、1700棟
屋上・外壁等改修工事

(1600棟) 階段室(2) 平面図、天井伏図、展開図

図面番号

A-13

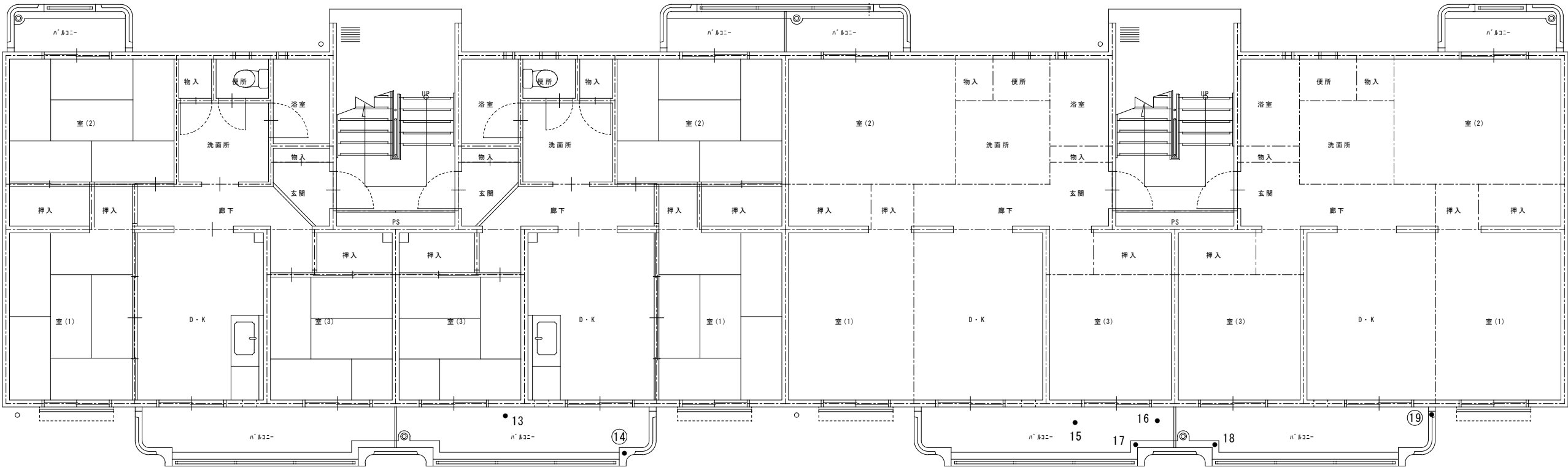
13/全23

外壁改修 凡例表						
符号	改修内容			改修工法		
●	爆裂部 補修			防錆処理の上、ポリマーセメントモルタル充填工法		
■	欠損部 補修			ポリマーセメントモルタル充填工法		
—	ひび割れ部 補修	0.2mm未満		シーリング工法		
		0.2mm以上		Uカット工法（ポリウレタン系シーリング材）の上 ポリマーセメントモルタル充填工法		
▲	モルタル浮き部 補修	0.25㎡未満	一般部	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	アンカーピン 16本/㎡	
			指定部	同上	アンカーピン 25本/㎡	
			狭幅部	同上	アンカーピン 200@	
		0.25㎡以上 1.00㎡未満	一般部	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	アンカーピン 13本/㎡	注入口 12本/㎡
			指定部	同上	アンカーピン 20本/㎡	注入口 20本/㎡
			狭幅部	同上	アンカーピン 200@	注入口 200@
		1.00㎡以上	一般部	同上	アンカーピン 13本/㎡	注入口 12本/㎡
			指定部	同上	アンカーピン 20本/㎡	注入口 20本/㎡
△	シーリング材劣化					
1	数字のみ : 個別の塗装なし		・ 全体で塗装 （屋上の軒天、パラペット、階段室天井、 			

※爆裂部、欠損部、ひび割れ部等の各改修部分の寸法、数量は別紙集計表に記載

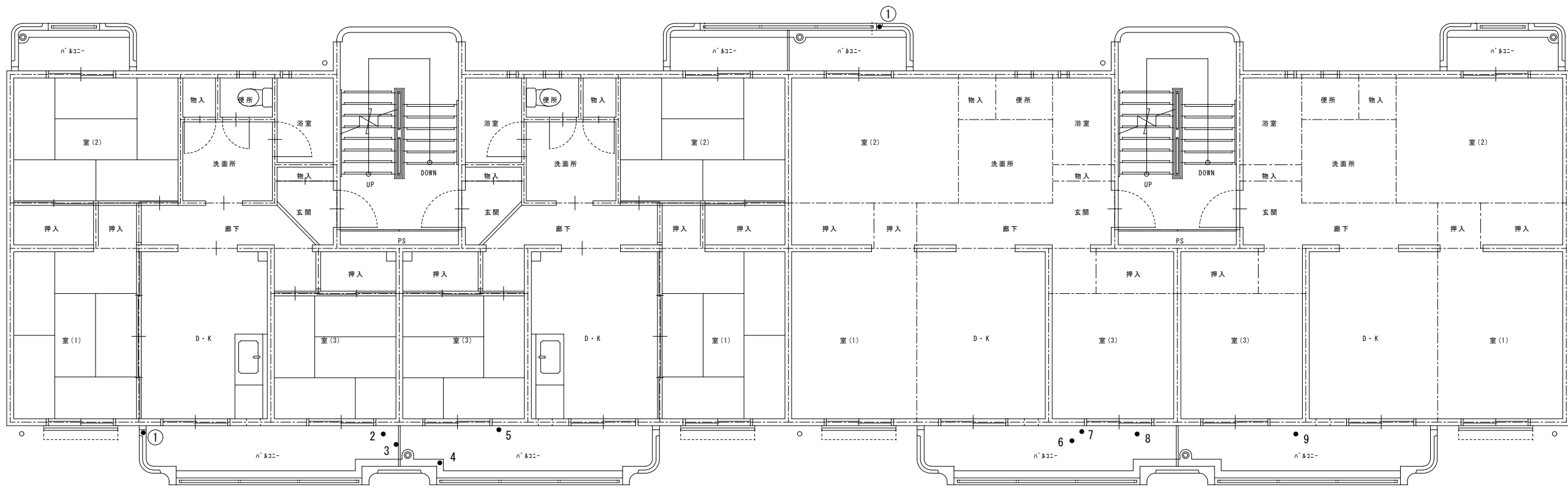
■ 全面塗装箇所を示す

追加補修箇所は朱書き、ダッシュ（' ）付き数字で記載

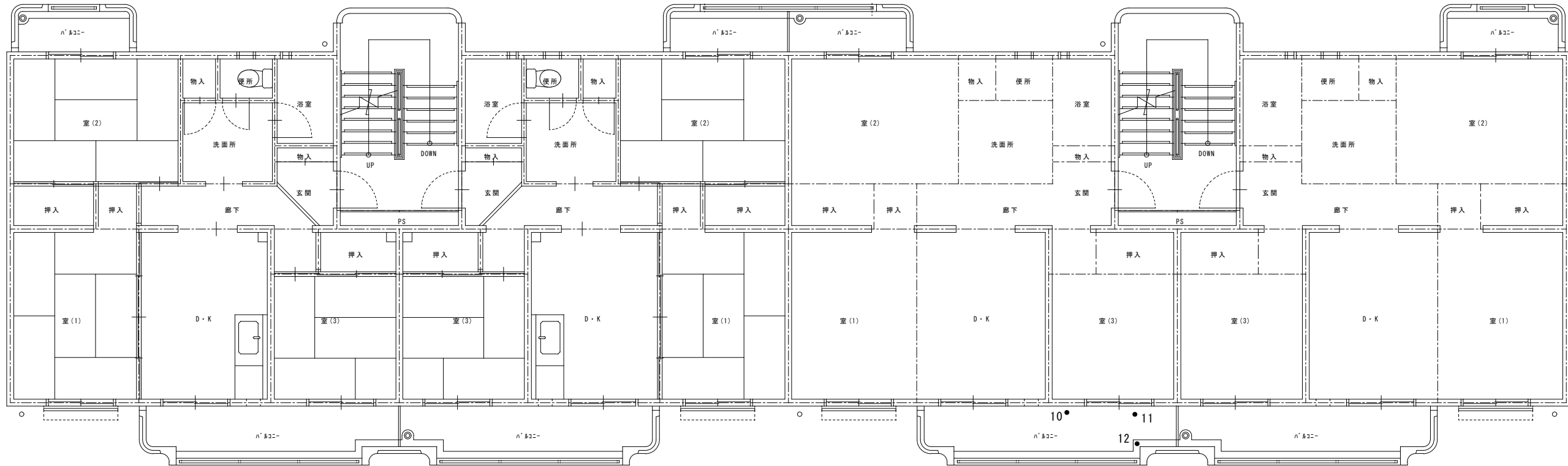


1700棟 1階平面図

※特記事項		承認	設計	担当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/50			A-14
						A3:1/100	図面名	(1700棟) 凡例・1階平面図	14/全23



1700棟 3階平面図



1700棟 2階平面図

※特記事項

承認 設計 担当

図面縮尺

A1:1/50

A3:1/100

工事名

山田さくらが丘団地1500棟、1700棟
屋上・外壁等改修工事

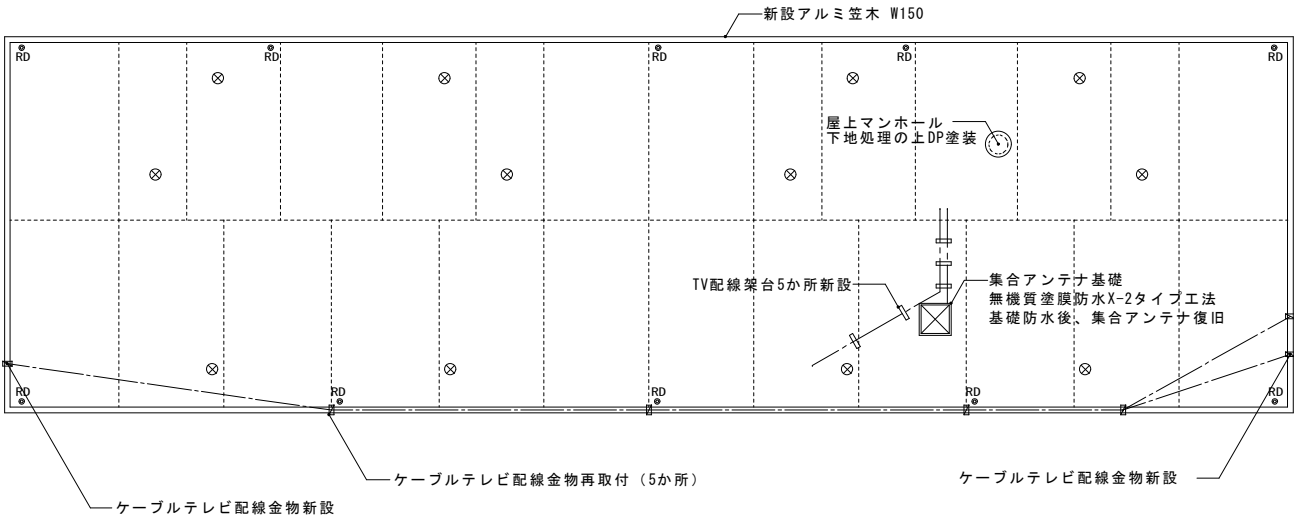
図面名

(1700棟) 2階、3階平面図

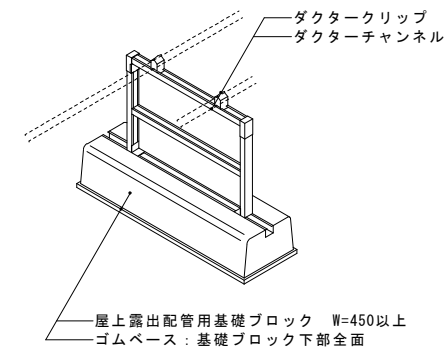
図面番号

A-15

15/全23

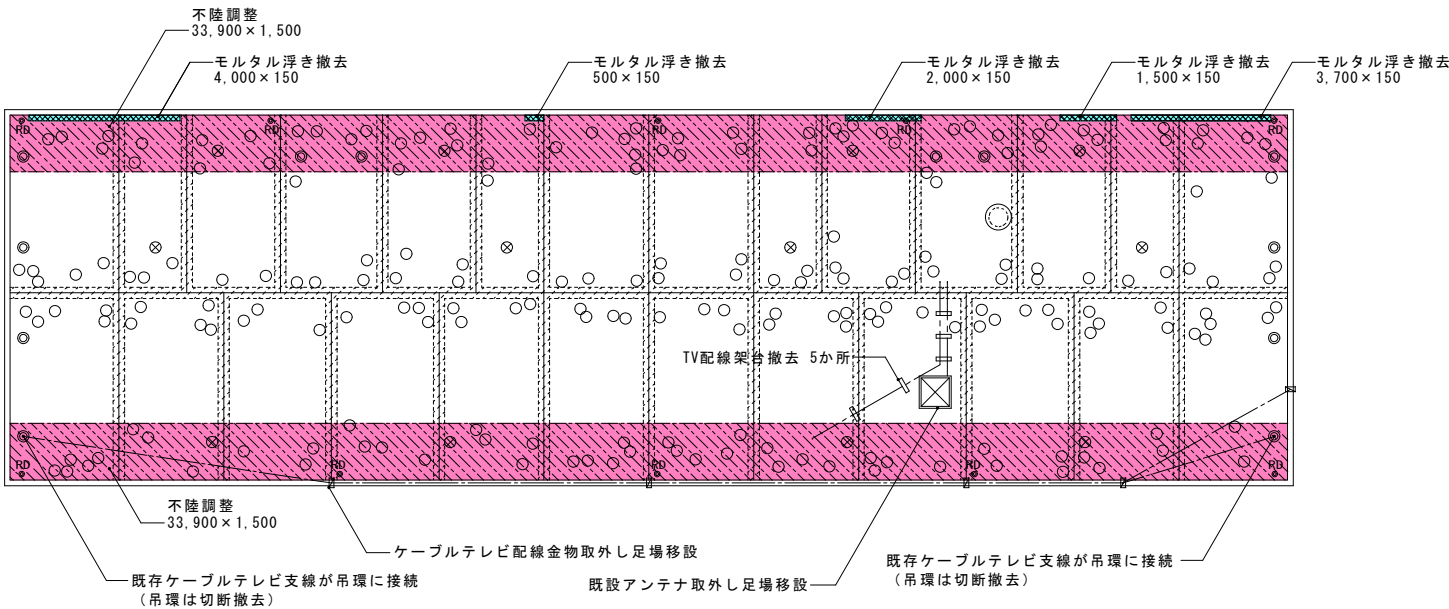


1700棟 改修屋上平面図



TV配線架台新設アイソメ図

改修屋上凡例	
記号	内 容
	縦型フードレイン廻りの補修 (10ヶ所)
	排水通気管 (12ヶ所既存のまま)
	ケーブルテレビ配線金物取付 復旧 : 5ヵ所 新設 : 2ヵ所
	TVアンテナ架台新設5ヵ所 (左図参照)
	アルミ笠木W=150新設
改修屋上仕上・工法	
1. 既存防水層	: アスファルト防水ジョイント部 (L4X工法) (既存ウレタン塗膜防水補修部、モルタル浮き部は患所のみ撤去)
2. 洗浄	: 高圧洗浄 (7~15MPa) 及びケレン・清掃
3. 笠木天端下地	: 樹脂モルタル補修
4. ドレイン廻り	: 樹脂モルタル補修
5. アスファルト防水部 (スラブ目地、吊環部)	: カチオン系下地調整材
6. 屋上水下部	: 不陸調整 (図示による)
7. 屋上全面	: カチオン系下地調整剤塗布
8. アスファルト防水部 (スラブ目地、吊環部)	: キンセイシート S-15 (同等) 貼り ・キンセイプライマー塗布 ・キンセイボンド塗布 ・キンセイシート貼り (圧着) ・シート端部 : キンセイボンド塗布
9. 屋上防水	: ポリマーセメント系塗膜防水 密着工法 (平場、立上り部共) (エクセルテックス101工法同等)
10. 笠木	: アルミ笠木取付



1700棟 既存屋上平面図

既存屋上凡例	
記号	内 容
	アスファルト防水 t=10 W=300 (既存のまま)
	不陸調整
	モルタル浮き部分撤去の上樹脂モルタル充填
	既存縦型ルーフトレイン (10か所)
	排水通気管 12か所 (既存のまま)
	アスファルト防水 既存のまま t=10 φ=300 (210か所)
	吊環撤去の上樹脂モルタル充填 (12ヵ所)
	ケーブルテレビ配線金物取外し、足場移設 (5ヵ所)
	集合テレビアンテナ取外し、足場移設 (1ヵ所)
	: マンホール蓋 DP塗装
	既設ウレタン塗膜防水を示す

※特記事項

屋上ケーブルテレビ配線、及び金物取外し、足場移設、復旧はケーブルステーション福岡の指定業者が行うこと。

屋上防水施工後に、笠木取付、TVアンテナ復旧、ケーブルテレビ配線及び金物の復旧を行うが、防水層を損傷しないように養生、管理を行うこと。

承認 設計 担当

図面縮尺

A1:1/100

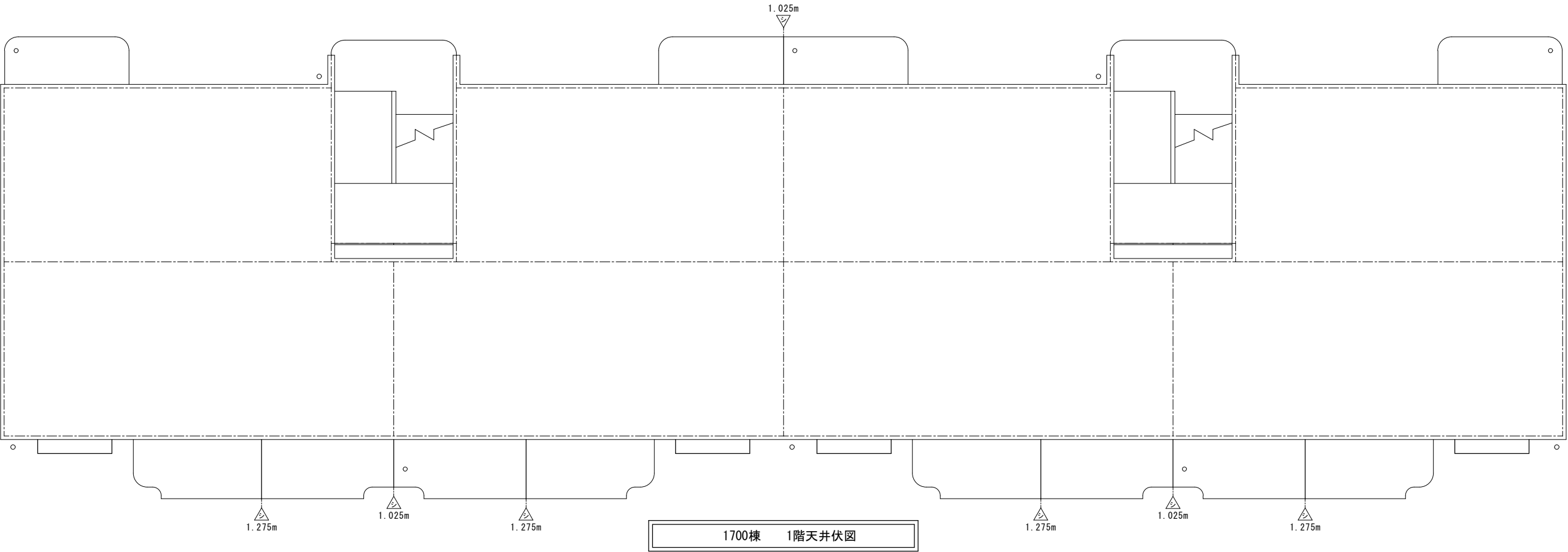
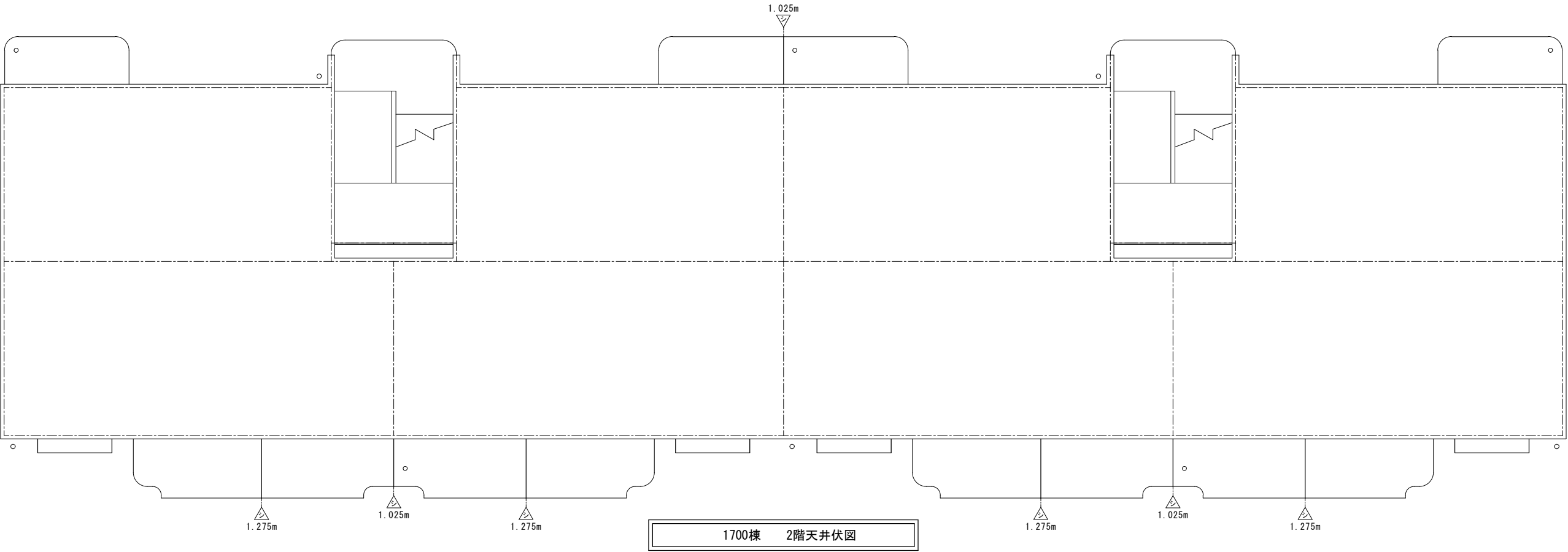
A3:1/200

工事名 山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事

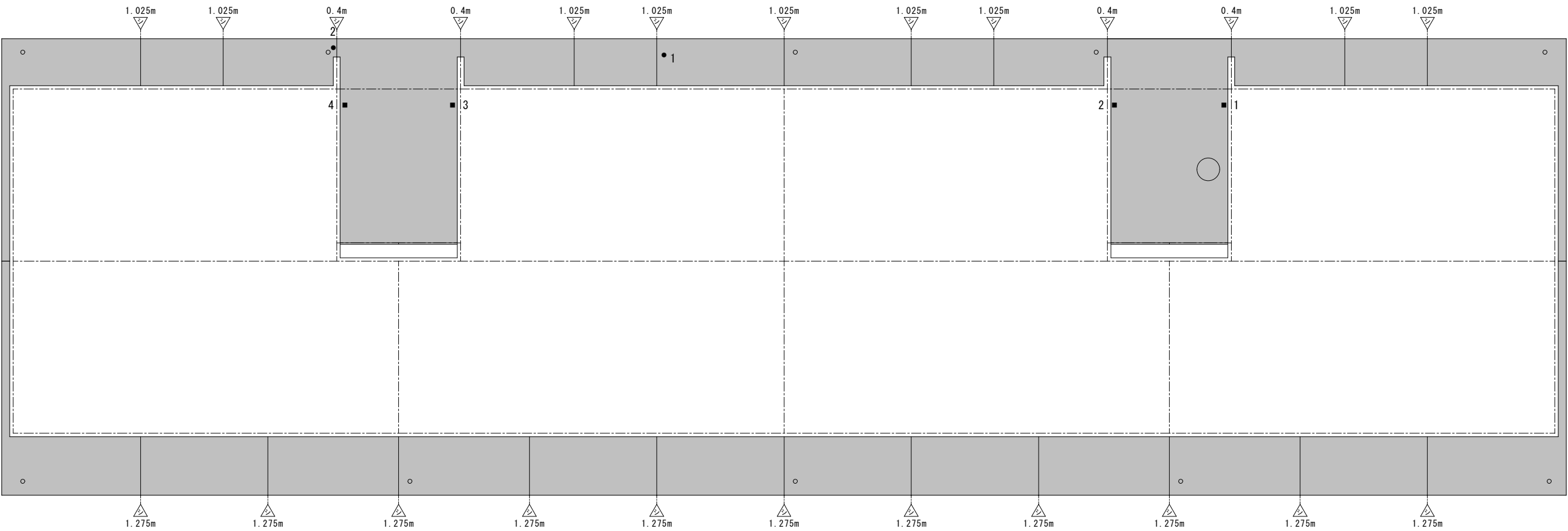
図面名 (1700棟) 屋上平面図

図面番号 A-16

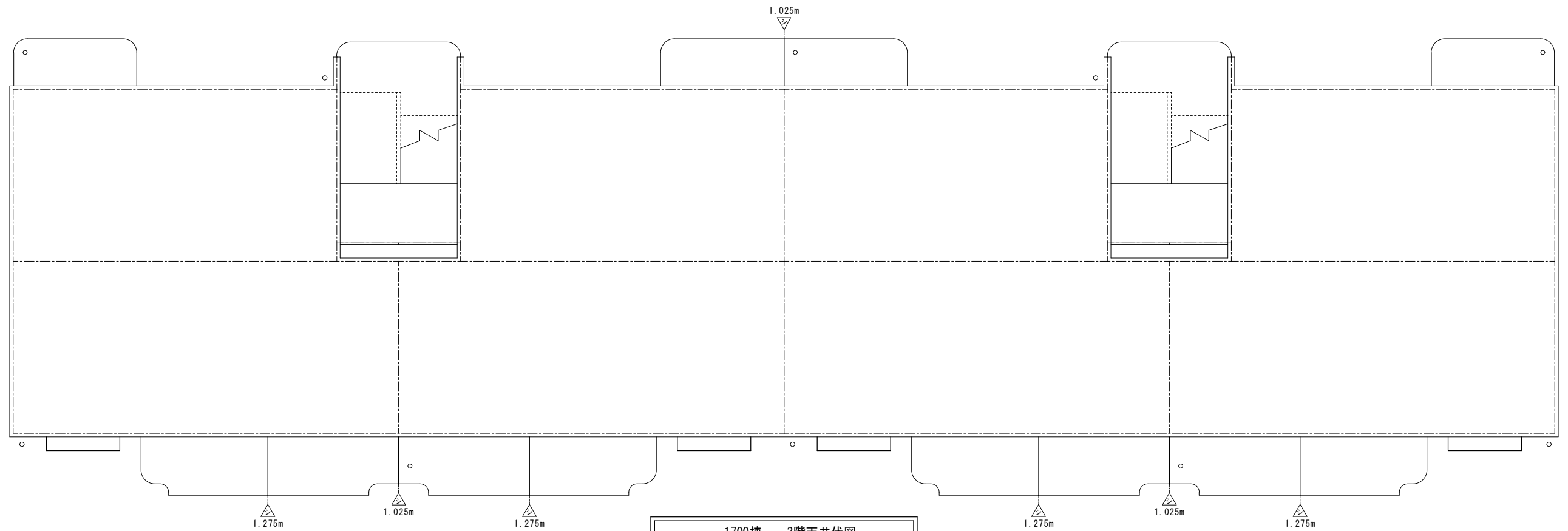
16/全23



※特記事項		承 認	設 計	担 当		図面縮尺	工 事 名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/50			A-17
						A3:1/100	図面名	(1700棟) 1階、2階天井伏図	17/全23



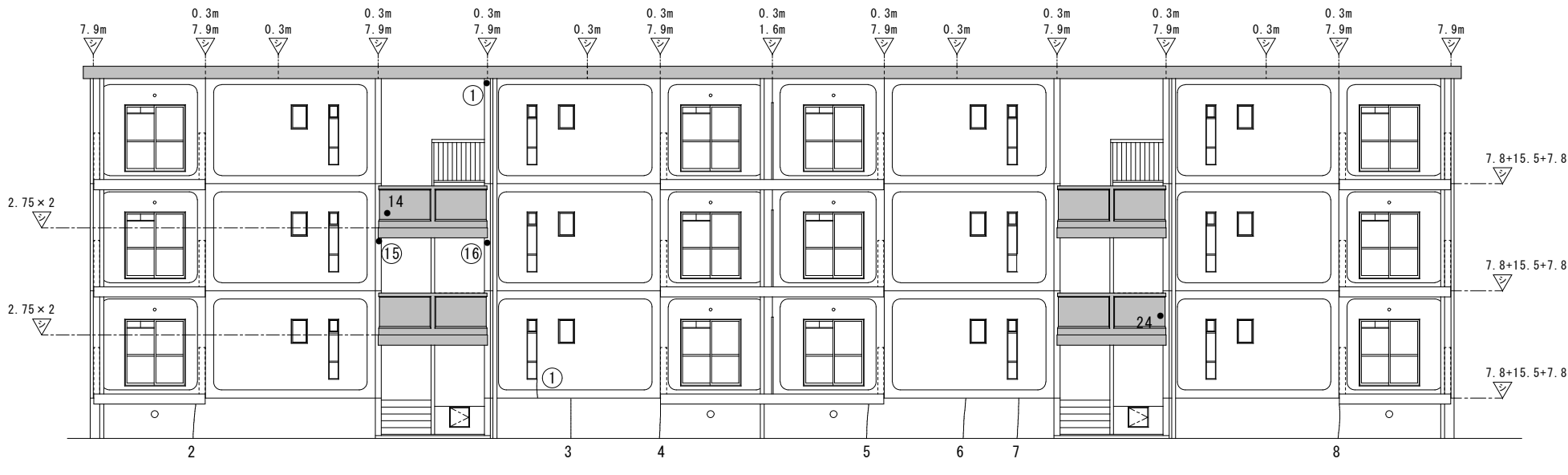
1700棟 屋上天井伏図



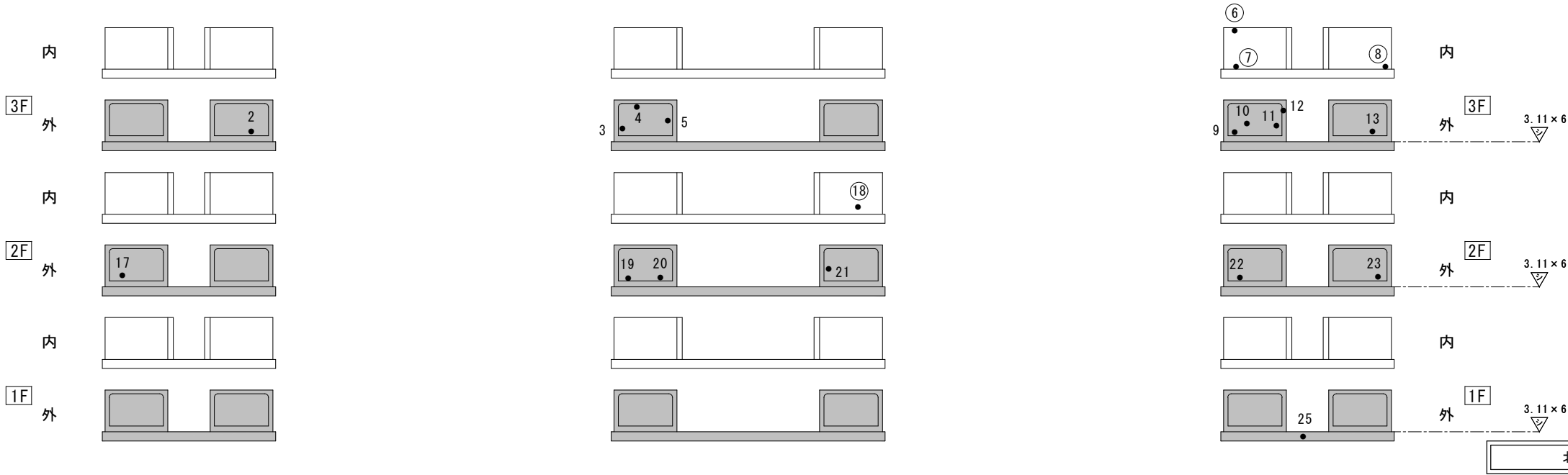
1700棟 3階天井伏図

※特記事項		承 認	設 計	担 当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/50			A-18
						A3:1/100	図面名	(1700棟) 3階、屋上天井伏図	18/全23

立面凡例	
記号	内 容
	鳩避けネット撤去復旧箇所
	BSアンテナ：足場移設、復旧箇所
	UHFアンテナ：足場移設、復旧箇所
	全面塗装箇所を示す



北側立面図

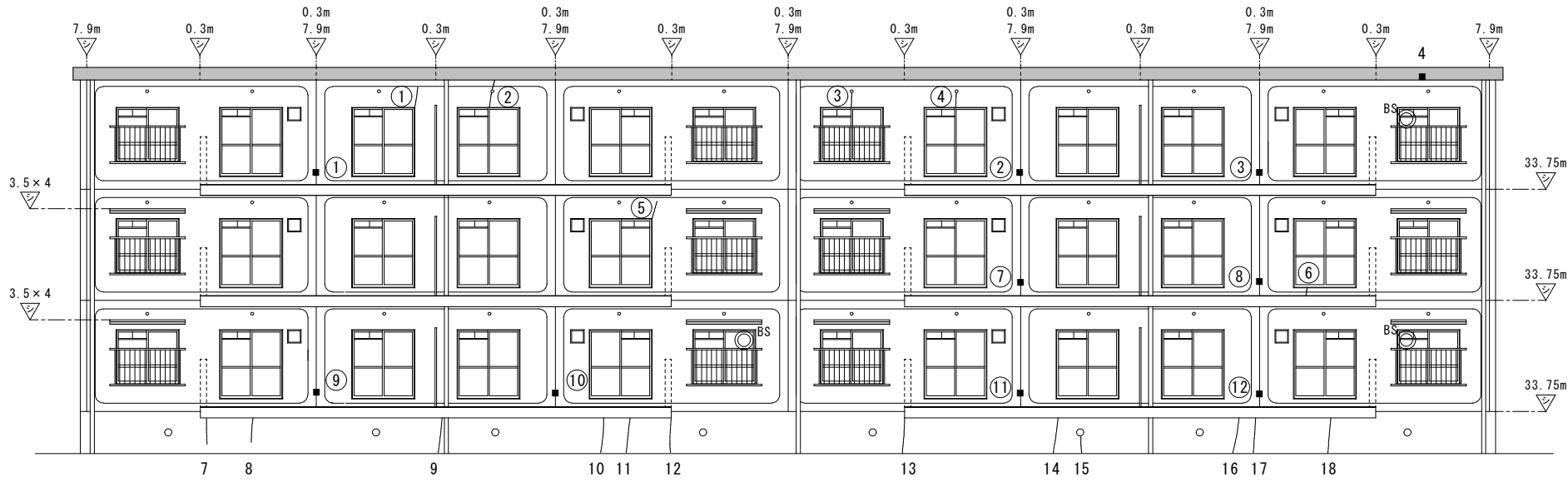


北側バルコニー展開図

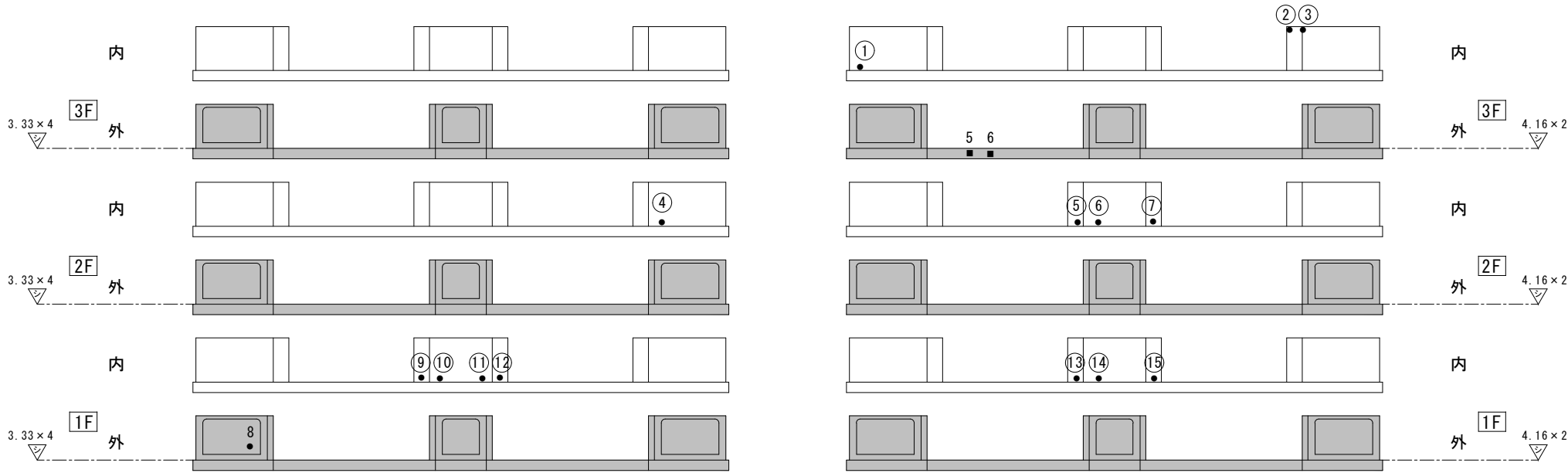
※仕上塗材アスベスト含有分析調査済み（アスベスト含有建材なし）

※特記事項		承認	設計	担当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/75			A-19
						A3:1/150			19/全23

立面凡例	
記号	内 容
	鳩避けネット撤去復旧箇所
	BSアンテナ：足場移設、復旧箇所
	UHFアンテナ：足場移設、復旧箇所
	全面塗装箇所を示す



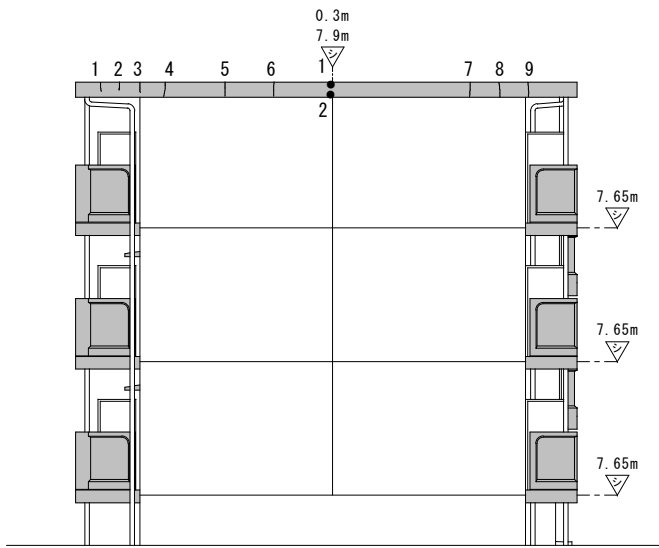
南側立面図



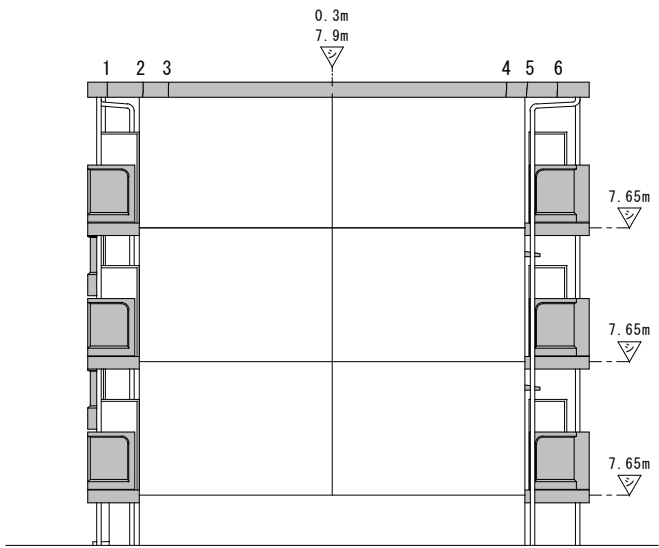
南側バルコニー展開図

※仕上塗材アスベスト含有分析調査済み（アスベスト含有建材なし）

※特記事項		承認	設計	担当		図面縮尺	工事名 山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/75		A-20
						A3:1/150	図面名 (1700棟) 南側立面図	20/全23



東側立面図



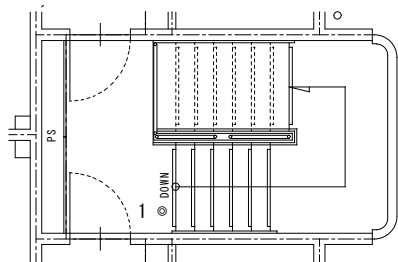
西側立面図

全面塗装箇所を示す

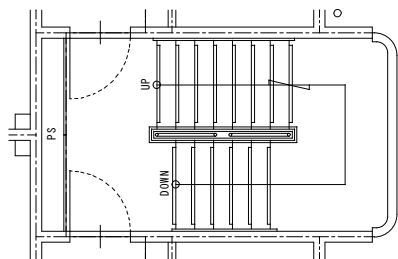
※仕上塗材アスベスト含有分析調査済み（アスベスト含有建材なし）

※特記事項		承 認	設 計	担 当		図面縮尺	工事名	山田さくらが丘団地1600棟、1700棟 屋上・外壁等改修工事	図面番号
						A1:1/75			A-21
						A3:1/150	図面名	(1700棟) 東側立面図、西側立面図	21/全23

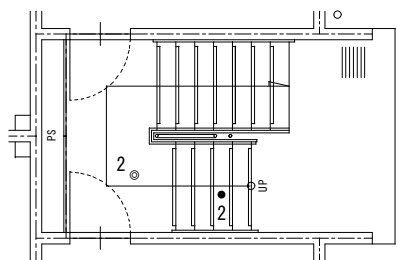
3F



2F

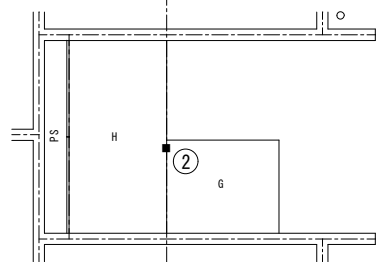


1F

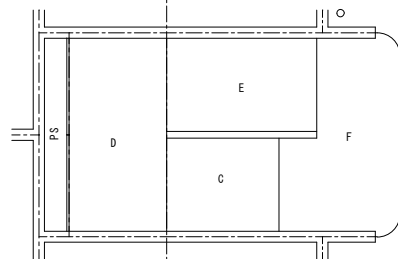


階段室(1) 平面図

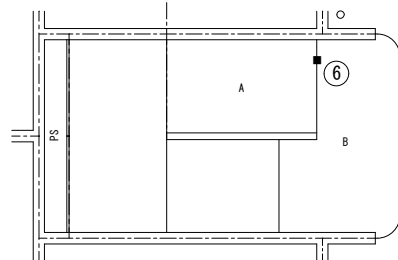
2.56 × 2



3F

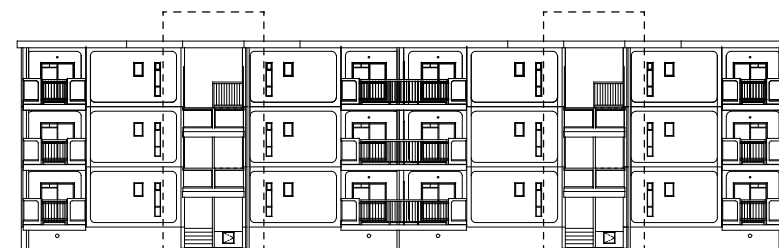


2F



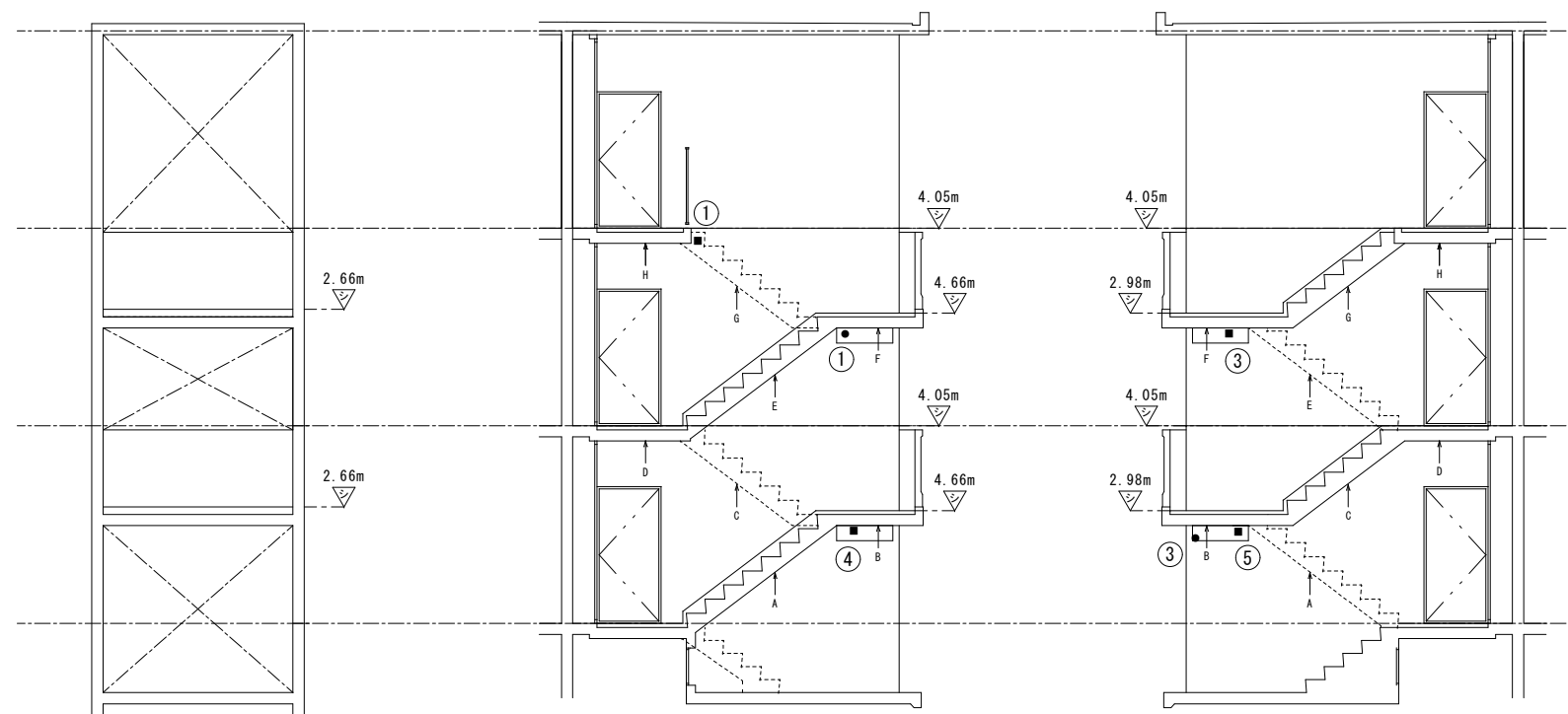
1F

階段室(1) 天井伏図



階段室(1)

階段室(2)



階段室(1) 展開図

※特記事項

承認 設計 担当

図面縮尺

A1:1/50

A3:1/100

工事名

図面名

山田さくらが丘団地1600棟、1700棟
屋上・外壁等改修工事

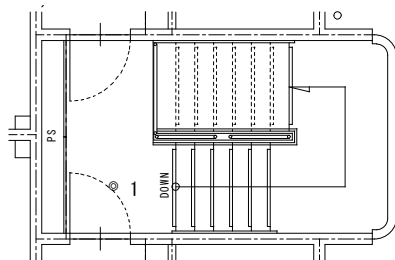
(1700棟) 階段室(1)平面図、天井伏図、展開図

図面番号

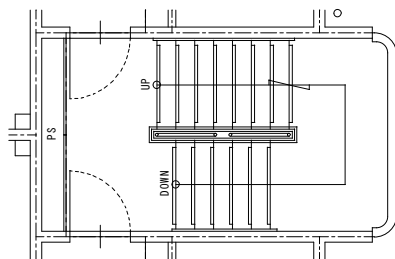
A-22

22/全23

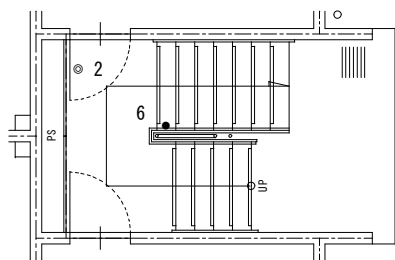
3F



2F

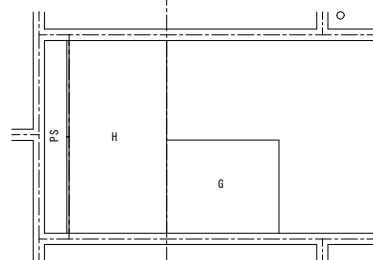


1F

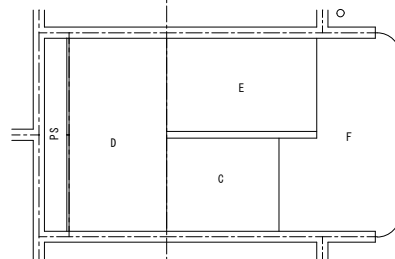


階段室(2) 平面図

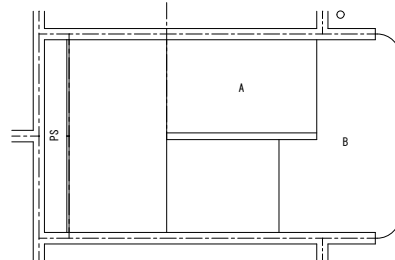
2.56 × 2



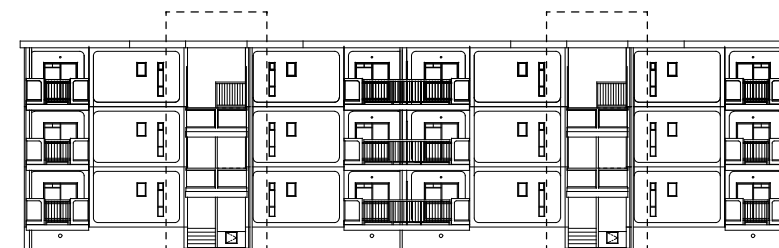
3F



2F

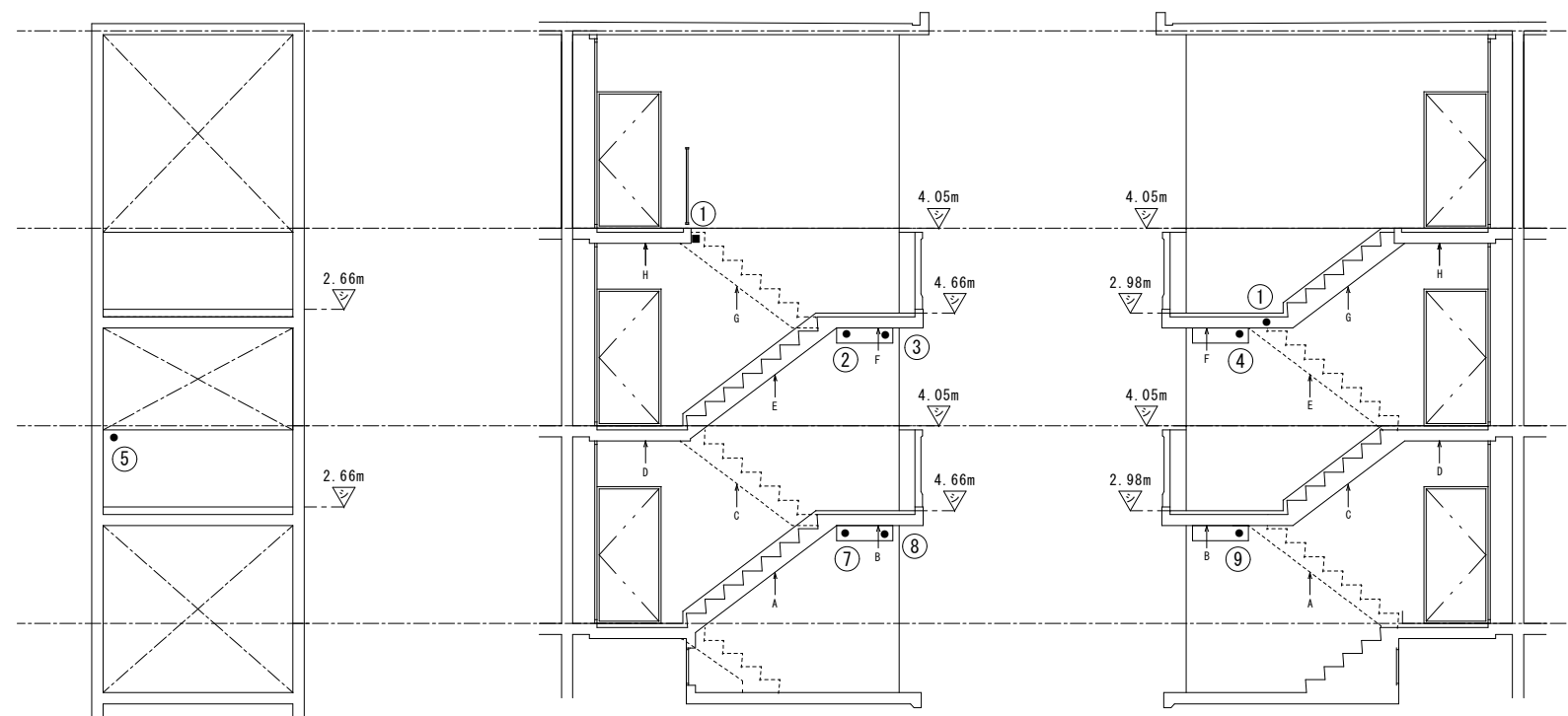


階段室(2) 天井伏図



階段室(1)

階段室(2)



階段室(2) 展開図

※特記事項

承認 設計 担当

図面縮尺

A1:1/50

A3:1/100

工事名

図面名

山田さくらが丘団地1600棟、1700棟
屋上・外壁等改修工事
(1700棟) 階段室(2) 平面図、天井伏図、展開図

図面番号

A-23

23/全23